

令和 5 年度主要施策に関する

要 望 書

令和 4 年10月

広島県内陸部振興対策協議会

令和5年度主要施策に関する要望

平素より、内陸部地域の振興、発展に特段のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

我々、4市4町が結集する広島県内陸部振興対策協議会は、昭和42年の設立以来、半世紀以上にわたり、当該地域の繁栄と発展を促進するため、調査・研究・提案など、積極的な活動を展開し、徐々にではありますが着実な成果を挙げてまいりました。

しかしながら、内陸部市町の人口減少は一向に歯止めがかからず、特に若年層を中心とする人口流出を背景に医療・介護人材や産業の担い手は不足し、空き家や耕作放棄地が増加するなど厳しい状況に直面しています。加えて、脆弱化する公共交通や財政基盤、近年多発する豪雨への対応、さらには、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は各方面に及び、解決すべき多くの課題を抱えています。

こうした中、県におかれましては、将来にわたり持続可能な中山間地域が実現できるよう、昨年1月に策定された「第2期 広島県中山間地域振興計画」に基づく取り組みを着実に進められるとともに、新型コロナウイルス感染症にかかる対策や、中小企業等への事業支援といった地域経済を支える取組など、さらなる連携のもと引き続き切れ目のない対策と支援の強化に期待するところでございます。

つきましては、別項のとおり提案をいたしますので、一層のご理解をいただきますとともに、令和5年度施策及び予算編成において、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本要望事項は、いずれも提案市町のみならず本協議会の総意として要望するものであり、その趣旨をご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

令和4年10月

広島県内陸部振興対策協議会
会長 下 森 宏 昭

目 次

重点要望項目一覧	1
市町最優先提案資料	3
総務局	11
1 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進及び支援の実施	
地域政策局	12
1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	
2 ウィズコロナを見据えた対策及び支援策の充実強化	
3 中山間地域活性化事業の推進及び支援策の充実強化	
4 合併建設計画における県事業の推進及び市町事業支援策の充実強化	
環境県民局	15
1 観光振興の推進及び支援策の充実	
2 社会経済情勢等の変化に応じた中小企業・小規模事業者に対する支援策の充実	
3 その他の要望	
健康福祉局	18
1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	
2 介護保険制度を始めとした安定的な社会保障制度の運営支援	
3 総合的、計画的な少子化対策の推進及び支援策の充実強化	
4 ウィズコロナを見据えた対策及び支援策の充実強化	
5 その他の要望	
商工労働局	24
1 観光振興の推進及び支援策の充実	

農林水産局	25
1 自然災害復旧・復興事業の推進	
2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	
3 2025 広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	
4 未来・将来に向けた林業振興の推進及び支援策の充実	
5 兼業農家・小規模農家に対する支援策の充実	
6 その他の要望	
土木建築局	31
1 ＪＲを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	
2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	
3 観光振興の推進及び支援策の充実	
4 中国自動車道の効果的な活用による地域振興	
5 合併建設計画における県事業の推進及び市町事業支援策の充実強化	
6 高規格道路及び主要国県道の整備並びに一般県道の改良率の向上	
7 その他の要望	
教育委員会	35
1 教育施策の推進と教育関係者の確保対策の充実	
2 中山間地域活性化事業の推進及び支援策の充実強化	
3 その他の要望	
警察本部	37
1 地域の安全・安心を支える防犯体制の充実及び施設整備の推進	
(別紙一覧表)	38
国道・県道・河川等要望箇所一覧	

広島県に対する重点要望 項目一覧

【市町最優先提案事業】

市町名	路線・河川名	
府中市	都市計画道路栗柄広谷線	一級河川「芦田川」及び一般国道 486 号
三次市	一般国道 183 号	一般国道 375 号
庄原市	一般河川「成羽川」	一般河川「西城川」
安芸高田市	高規格道路「東広島高田道路」	急傾斜地「貴船地区」
安芸太田町	一般国道 191 号	一般県道弁財天加計線
北広島町	広域営農団地農道 芸北第 3 期	一般国道 433 号
世羅町	一般国道 432 号	主要地方道甲山甲奴上市線
神石高原町	一般国道 182 号	主要地方道吉舎油木線

【重点要望】

I. 安心な暮らしの実現に向けて

- 1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保
- 2 介護保険制度を始めとした安定的な社会保障制度の運営支援
- 3 総合的・計画的な少子化対策の推進及び支援策の充実強化
- 4 教育施策の推進と教育関係者の確保対策の充実
- 5 地域の安全・安心を支える防犯体制の充実及び施設整備の推進
- 6 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化
- 7 自然災害復旧・復興事業の推進
- 8 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化
- 9 ウィズコロナを見据えた対策及び支援策の充実強化

II. 地域産業の振興に向けて

- 1 観光振興の推進及び支援策の充実
- 2 2025 広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実
- 3 未来・将来に向けた林業振興の推進及び支援策の充実
- 4 兼業農家・小規模農家に対する支援策の充実
- 5 DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進及び支援の実施

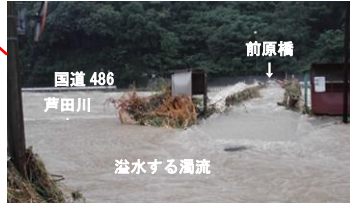
- 6 社会経済情勢等の変化に応じた中小企業・小規模事業者に対する支援策の充実
- 7 中国自動車道の効果的な活用による地域振興

Ⅲ. 生活基盤の充実に向けて

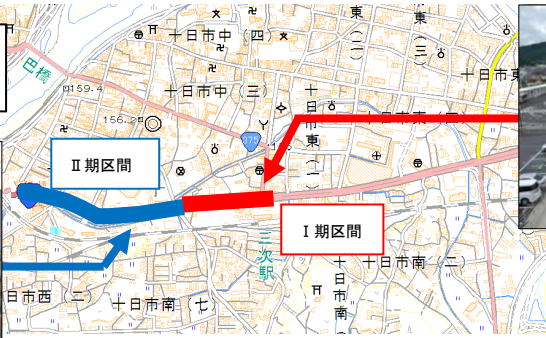
- 1 中山間地域活性化事業の推進及び支援策の充実強化
- 2 合併建設計画における県事業の推進及び市町事業支援策の充実強化
- 3 高規格道路及び主要国県道の整備並びに一般県道の改良率の向上

【府中市】

要望箇所	府中南北道路（都市計画道路栗柄広谷線）府中市栗柄町～広谷町	
	【概要】 本路線は、市中心部及び北部工業団地から山陽自動車道、国道2号、松永港などへ最短でアクセスする重要な幹線路線である。 本路線の道路改良により、流通の円滑化が図られるとともに車道と歩道の分離による小学生の通学や自転車通行の安全性の向上が期待される。	【ストック効果】 ・市中心部及び北部工業団地から山陽自動車道 福山西 IC 間、国道2号、松永港への交通快適性が大幅に向上する。 ・また、流通の円滑化により産業の活性化が図られ、市内から市外へ転出される方の歯止めとなる。 ・扇橋の架け替えにより現在の複雑な交差点が解消され、円滑な交通処理が可能となり、交通事故発生件数の減少が期待される。
	 府中南北道路「扇橋」の現況	【地元の声】 運送コストの軽減や通勤時間短縮など、地域経済発展のために南北道路の早期完成をお願いします。 （府中商工会議所要望書より）

要望箇所	一級河川「芦田川」及び一般国道 486 号	
【概要】 本河川は、平成 10 年及び平成 30 年 7 月豪雨で氾濫し、国道の冠水や家屋の浸水被害が発生した。 河積の確保など治水安全度の向上を早期に図る必要がある。芦田川水系河川整備計画に基づく事業の早期完成をお願いするものである。 また、この区間の国道 486 号は無歩道区間であり、非常に危険な区域である。河川改修に伴い、国道の改良工事の早期完成を要望する。	令和 4 年度事業費 約 105 百万円 上部工・護岸工を実施 【ストック効果】 ・浸水被害が軽減されることにより、地域の安全・安心が確保される。 ・国道 486 号の河川改修区間の無歩道が解消され、安心して歩行者、自転車の通行が可能となる。 ・前原橋は、架設から今年で 56 年が経過し老朽化している。幅員が拡がれば、交通の安全性が向上する。	
	【地元の声】 浸水被害の軽減、国道 486 号の歩道整備、前原橋の幅員拡幅により安心してこの地域で暮らせることができるよう、早期の完成をお願いします。	
		
平成 30 年 7 月豪雨「芦田川」前原橋付近被災状況		

【三次市】

要望箇所	一般国道 183 号 三次市十日市中（三次拡幅）
【概要】 本路線は、三次市の中心市街地を通過する主要幹線道路であり、円滑な交通処理機能と快適な道路空間の確保とともに良好な市街地形成に寄与することが求められる。 三次市の中心市街地の形成のため、Ⅰ期区間 400m、Ⅱ期区間 600mの道路改良事業について、早期完成をお願いする。	令和 4 年度事業費 309 百万円（補正含む） 用地買収、道路改良工事を実施 【ストック効果】 三次市中心部における朝夕の通勤時間帯に発生する渋滞を解消し、国道 54 号及び中国縦貫自動車道三次 IC へのアクセス性向上を図る。 また、併せて歩行空間の整備を行うことで、安全安心な歩行空間を創造する。
Ⅱ期区間 三次警察署入口交差点付近 	 Ⅰ期区間 三次駅前周辺 

要望箇所		一般国道 375 号 三次市日下町～作木町香淀(引宇根工区)、十日市南	
①日下町～作木町香淀 【概要】 本路線の未改良区間は、線形不良で見通しが悪く、通行に困難をきたしている。日下～香淀における未改良区間の早期全線改良をお願いする。	令和 4 年度事業費 584 百万円 (補正含む) 用地買収、トンネル舗装、設備工事、道路改良工事 【ストック効果】 ・第一次緊急輸送道路ネットワークが強化され、地震発生直後の救急活動・物資輸送が迅速かつ確実になる。 ・作木地区から地域医療支援病院である市立三次中央病院への救急搬送時間が大幅に短縮される。 ・狭く、カーブが多い区間が解消され、三次市中心部への通行が快適になる。	【トピックス】 平成 30 年 4 月 1 日をもって J R 三江線が廃止となり、代替交通としてのバス運行に際しては、未改良区間の早急な整備が必要である。	
 作木町引宇根地区			
②十日市南 【概要】 市内外の来訪者が頻繁に往来し、交通量が非常に多い区間である三次 IC から三次市街地間(十日市南)の早期歩道整備をお願いする。	令和 4 年度事業費 74 百万円 用地補償、用地調査 【ストック効果】 ・中国縦貫自動車道三次 IC と三次市街地を結ぶアクセス路線における歩行者の安全確保	【地元の声】 通学時には学生が通る箇所でもあり、安全性の確保のため歩道整備が必要と考える。 (地域住民保護者)	

【庄原市】

要望箇所	一級河川「成羽川」	庄原市東城町
【概要】 本河川は、庄原市東城町を縦断する河川であるが、平成 30 年 7 月の豪雨による氾濫で床上・床下浸水が多数発生している。特に、備中町・浜栄町・桜町地区は甚大な被害が発生しており、今後も、同様の豪雨による被害が懸念されるため、大橋から五反田橋の区間について一刻も早く改修されるよう要望する。 【ストック効果】 ・浸水被害が軽減されることにより、地域の安全・安心が確保される。 ・増水時の橋梁の通行が確保されることにより、避難・防災活動の円滑が図られる。 ・地域の安全が確保されることにより、人口流出の抑制及び新規定住者の増加が期待される。		
 庄原市東城町浜栄町地区  庄原市東城町桜町地区 【地元の声】 ・平成 30 年 7 月の豪雨により成羽川が氾濫し、多くの家屋が床上浸水になる等、甚大な被害が発生しました。今後も、大雨による災害が発生する危険にさらされています。 (平成 30 年 7 月 31 日 東城桜町上自治会要望)		

要望箇所	一級河川「西城川」	庄原市西城町外
【概要】 庄原市西城地域から庄原地域を縦断する河川である西城川は、平成 30 年 7 月の豪雨により氾濫し、多くの被害が発生している。また、この度の令和 2 年 7 月豪雨でも冠水により、住家の床下浸水などの被害が発生しており、早期の河川改修を要望する。 【ストック効果】 ・浸水被害が軽減されることにより、地域の安全・安心が確保される。 【要望区間】 ・庄原市本町～高町 ・庄原市川西町～西城町、可愛橋～大橋		
 庄原市川西町  庄原市宮内町 【地元の声】 高町高取地区から川西町明賀地区に至る西城川において越水が多数発生し、水田等の農地の表土流失や土砂の流入等の被害が生じています。 (平成 30 年 7 月 16 日 高自治振興区要望)		

【安芸高田市】

要望箇所	高規格道路「東広島高田道路」	安芸高田市向原町～吉田町
【概要】 東広島高田道路のうち向原～吉田間は現道の平面・縦断線形が悪く交通の隘路となっている。地域の発展・活性化を図るには当該区間の整備は不可欠であり、交通の難所の解消が地域間の連携、更には広域的な交流促進を進めることになる。 平成17年の事業化から10年以上が経過し、地域の期待も一層高まっていることから、早期の完成を要望する。 吉田町側  【ストック効果】 ・地域間連携向上によるまちづくり支援 ・県中央域へのアクセス強化 ・道路線形、縦断勾配の不良区間解消 ・冬季における交通安全性の確保 向原町側  【地元の声】 ・最近では工事が目に見える形で進んできました。地域にとっても完成を心待ちにしている道路であり、完成後の更なる地域の発展を期待しています。 (吉田町常友地区住民より)		

要望箇所	急傾斜地「貴船地区」	安芸高田市吉田町吉田
【概要】 当該地区には高校・小学校などの教育施設や、保育所・幼稚園などが点在するが、土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定されており、土砂災害のおそれがあるため、生徒・児童の保護者及び住民から早期の対策が望まれている。 安芸高田市吉田町吉田地区  【ストック効果】 ・急傾斜地の崩壊から人命や公共施設、人家等への被害を防ぐ効果が期待できる。 ・地域の安全が確保されることにより、人口流出の抑制及び新規定住者の増加が期待される。 ・安心して勉学に専念できる。 ・荒天時保育所を移している(R3年度7月)が、その必要がなくなる。 【地元の声】 ・過去には高校裏の斜面が崩れたこともあり、小学校に子供を預ける親として不安に思う。一日でも早く安心して通学できる学校になってほしいと思います。 (吉田町吉田地区住民より)		

【安芸太田町】

要望箇所	一般国道 191 号	安芸太田町 松原
【概要】 本路線は島根県益田市から広島市に至る陰陽を結ぶ広域経済活動や四季を通じた観光道路、さらには地域住民の生活基盤として重要な広域基幹道路である。豪雪地帯に指定されているこの箇所では最急道路勾配 10%を超える状況のため、冬季において交通渋滞を招き交通事故も多発しており、積雪時には峠を越えられず引き返した車両もいる。このようなことから道路状態が非常に悪く通行車両及び地域住民の不安を招いている。 本区間の改良により一年を通じて通行車両の安全を確保し、通行者や地域住民の不安を解消することとなる。		
令和 4 年度事業費 20.5 百万円 詳細設計、用地測量 【ストック効果】 ・芸北、益田市方面からの中国縦貫自動車道戸河内 IC 間の交通快適性が大幅に向上 ・中国縦貫自動車道戸河内 IC からの年間を通じて観光施設（スキー場、三段峡、深入山）へのアクセス向上 ・高速バス等の公共交通機関の定時性の確保 ・交通利便性向上により市内経済活性化に大きく寄与 ・緊急車両出動時間の短縮 【地元の声】 ・積雪対応の舗装や融雪装置を設置して頂いておりますが急勾配の区間が長く解消には至っておりません。一年を通じて不安は解消できず、当地区において最重要課題であるため早期の改良を望みます。 (平成 25 年 1 月松原自治会要望書より)		
安芸太田町 松原地区		
		

要望箇所	一般県道弁財天加計線	安芸太田町 土居
【概要】 当路線の起終点側は、線形は不良、幅員は極めて狭小であり、離合困難区間が多く残されている。地形は山側谷側共に急勾配な法面であり、落石、法面崩壊、路肩崩壊が度々発生している。異常気象時には通行規制が発せられ、路線内の集落（寺領地区）は孤立してしまう。 本区間の拡幅改良を実施することにより、異常気象時の通行規制が緩和されるとともに、当路線は通学路としても指定しているため、通学の安全確保にも寄与することとなる。		
令和 4 年度事業費 30 百万円 工事実施（改良工事） 【ストック効果】 ・事前交通規制の緩和による孤立化の解消 ・寺領地区から国道 191 号へ避難、防災活動の経路確保 ・災害発生時、交通事故等による交通障害の低減 ・年間を通じて円滑な交通の確保 ・戸河内 IC 等へのアクセス向上による地域生産物の流通の効率化 ・路線バスの定時性等の安定した通行の確保		
安芸太田町 土居地区		
		

【北広島町】

要望箇所	広域営農団地農道 芸北第3期 北広島町西宗～今田
【概要】 本路線は北広島町細見から溝口、都志見、西宗、今田へと北広島町を東西に横断連絡する広域農道であり、本路線の整備は、農産物の団地形成や広島広域都市圏地産地消を進める効率的な流通に資するとともに、地域住民の利便性の向上や経済及び文化の発展に大きく寄与する、本町にとっては非常に重要な路線となる。早期供用開始を要望する。	令和4年度事業費 918 百万円 トンネル工事を実施 【ストック効果】 ・農畜産物等のより効率的な流通 ・広島広域都市圏における野菜生産基地としての機能向上 ・豊平中心地域と千代田中心地域の移動時間の短縮 ・新たな公共交通の開発 ・経済、文化、医療、福祉、教育、観光等の発展・振興
	【きたひろ野菜農業推進プラン】 ～芸北広域営農団地農道の活用と広島広域都市圏地産地消の推進～ ・本町において販売額1億円を超える品目であるトマト、ミニトマト及び販売額1億円を目指すハウレンソウ、キャベツを重点品目とし、苗供給から生産、選果、集出荷体制の整備に芸北広域農道を活用して取り組みます。 (北広島町農業振興計画より要約)

要望箇所	一般国道433号（加計豊平バイパス 豊平工区） 北広島町戸谷
【概要】 国道433号は、加計地区と豊平地区を最短で連絡し、芸北地域の東西軸となる重要区間である。 急峻な山地部で未改良箇所が多く自動車の離合が困難な状況で、交通の円滑化や安全性の確保、芸北地域の活性化のため、延長2.85kmの豊平バイパスの整備を行っており、令和7年度までに約950mの部分完成を予定している。 早期整備を要望する。	令和4年度事業費 146 百万円（補正含む） 改良工事 【ストック効果】 ・国道186号、国道261号を経由し、戸河内IC、千代田IC、大朝ICとのアクセス改善 ・道路ネットワークの強化、交通処理の円滑化 ・離合困難箇所の解消、交通事故防止 ・観光交流の促進、物流の円滑化 ・路線バスの安定した運営 ・積雪等異常気象時における安定した交通確保
	【地元の声】 ・道路が狭いうえに、カーブがきつく普通車同士でも離合が難しく、危険を感じています。早期の解消を望みます。

【世羅町】

要望箇所	一般国道 432 号 賀茂バイパス
【概要】 本路線は、竹原市・三原市大和町方面や広島空港と世羅町市街地を結ぶ重要路線である。 しかしながら、この区間は家が両脇に立ち並び、幅員が狭隘で急なカーブも数か所あるため車の交通や歩行者の安全性に支障をきたしている。	令和 4 年度事業費 20 百万円 物件補償 【ストック効果】 ・旧道の交通量の減少により車や歩行者の安全性が大幅に向上 ・緊急車両到着時間の短縮 ・新たに生まれるバイパス道路脇の土地の活用による経済効果が期待される ・広島空港との流通の円滑化による市内経済の活性化に寄与
 国道 432 号 賀茂地区現況	

要望箇所	主要地方道甲山甲奴上市線 世羅町赤屋
【概要】 本路線は、中国縦貫自動車道庄原 I C や中国横断自動車道尾道松江線甲奴 I C、世羅 I C に連絡し、庄原市総領町と世羅町を結び生活に密着した重要な幹線道路である。 しかしながら、本区間は未改良で、車同士の離合ができない区間が多く、通行に支障をきたしている。	令和 4 年度事業費 21 百万円 物件補償 【ストック効果】 ・交通の円滑化により、住環境の向上が図られ、地域活性化につながる。 ・車・歩行者の安全性が向上する。 ・緊急車両の通行時間が短縮し、住民の安心・安全が確保される。
 主要地方道甲山甲奴上市線 赤屋地区現況	

【神石高原町】

要望箇所	一般国道 182 号 神石高原町油木安田、井関
【概要】 本路線は山陽自動車道と中国縦貫自動車道を結び高速交通体系のネットワーク構成に大きく貢献する重要な路線で、集客・物流機能を併せ持ち、産業・観光面等に多様な効果をもたらす整備・充実は必要不可欠である。 本路線の改良要望区間は、幅員が狭隘かつ急カーブであり、大型車の通行に支障が生じている。 本区間の改良により、流通の円滑化が図られるとともに安全性の向上が期待される。	(油木安田工区) 令和 4 年度事業費 30 百万円 用地買収，詳細測量 (井関工区) 令和 4 年度事業費 3 百万円 用地測量 【ストック効果】 ・大型車両の交通快適性が大幅に向上 ・通学時の安心・安全の確保 ・高速交通体系の機能強化 ・安全で円滑な自動車交通が望め、地域に住む人々の生き生きとした生活が確保される。
 神石高原町油木安田地区	【地元の声】 ・大型車両の通行が多く、歩道が未整備で通学時に危険なため早期に改良を望みます。 (PTA 要望書)

要望箇所	主要地方道吉舎油木線 神石高原町、長者原（トンネル）
【概要】 本路線の改良要望区間は、合併前の旧油木町と旧三和町を結ぶ合併周回道路であり、広域的行政及び地域住民の生産・流通・消費・生活のあらゆる分野で、重要な役割を担う主要な幹線道路である。 本区間の改良により、安全性と地域活性化の向上により地域振興が図られる。	令和 4 年度事業費 10.5 百万円 測量業務 【ストック効果】 ・トンネル改良により、車両の通行制限が解除され流通経路の拡大が期待できる。 ・離合困難箇所の解消、交通事故防止が図られる。 ・地域活性化の向上により地域振興が図られる。
起点側  神石高原町長者原地区	終点側  【地元の声】 ・朝夕の通勤の自動車、大型トラック等の交通車両が急増し、道路の幅員が狭いため、大型車と普通車の離合ができないため非常に危険です。 (町内の通勤者より)

令和５年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
1	01 総務局 【新規】	1 DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進及び支援の実施	(1) 県内市町共通のDXの推進及び支援の実施	■DXの推進及び支援の実施 国を挙げてDXを推進する中で、各市町が個別に検討を進める現在の方法ではダブりが出たり、広域的な利用ができなかったり、非効率な部分が出る恐れがある。 特に公共交通関係など広域で取り組むメリットが大きい分野については、県又は国が主導して進めることを要望する。	04 安芸高田市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
2	02 地域政策局	1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	(1) 鉄道ネットワークの維持充実	■JR芸備線・JR木次線・JR福塩線の維持充実 鉄道、バスなどの公共交通は、地域住民の日常生活に欠かせない移動手段であると同時に、地域間を結ぶことによる観光振興や、地域経済の活性化に大きく寄与する重要な幹線交通路線である。 しかしながら、昨今の人口減少やモータリゼーションの進行に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛の影響を受け、利用者数が大幅に減少している。 こうした中、本年4月にJR西日本から収支率等が公表されたことにより、持続可能な公共交通を考える上で大きな転換期を迎えている。 本年7月に国の鉄道有識者検討会が公表した提言では、JR各社のローカル線区については、国が中心となり、新たに沿線自治体や鉄道事業者等で構成される「特定線区再構築協議会（仮称）」が創設されるほか、国の支援による実証事業や制度上の特例など、国の関与が示されたところである。 県においては、全国知事会を通じた提言や、国土交通大臣への要望等に加え、鉄道ネットワークについて中山間地域の魅力向上を目的とした支援事業を継続して実施いただいているところであり、引き続き、JR路線の維持、充実に向けて、沿線自治体と連携した利用促進の取組や、国やJR西日本との連携、調整にご尽力いただくよう要望する。 また、2次交通であるバス路線の維持に向けた財政的な支援の継続についても要望する。	01 府中市 02 三次市 03 庄原市 07 世羅町
3	02 地域政策局	1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	(2) 生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	■生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化 市域全体に集落が点在している中山間地域では、福祉的な視点で高齢者に配慮した公共交通が求められている。 徒歩圏内の地域の小さな商店等が閉店となる中、高齢者の移動手段の確保は生活していく上で、必要不可欠なインフラとなっている。 市では必要な路線を維持するため、定時定路線のバスとデマンド交通を組み合わせ、運行経費の節減に努めているが、全路線で採算割れとなっている。 利用者の減少が続く、経営努力も限界に達していることから、赤字部分を業務委託料や補助金で補填している。 多額の費用が必要なため、市町の実情に応じた運行経費補助額の引き上げ、また車両更新など設備投資に対する支援の拡充を要望する。	04 安芸高田市
4	02 地域政策局	1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	(3) JR芸備線の安定運行の実現	■JR芸備線の安定運行の実現 JR芸備線は、多くの利用者が通勤や通学に利用しているが、荒天等による遅延や運休が頻繁に発生している。安定した運行がなされないと、通勤や通学において安心して利用できないため、やむを得ず他の交通手段に切り替えたり、転居したりして更に芸備線離れが進んでしまう。 JR芸備線が災害に強く、安定的に運行できるように、駅及び線路周辺環境整備を要望する。	04 安芸高田市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
5	02 地域政策局	1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	(4) タクシーを活用した移動事業に関する支援	■<u>タクシーを活用した移動事業に関する支援</u> 安芸太田町の町内移動における廃止代替バスやデマンド交通は、年々利用が減少し、結果1人あたりの移動コストが増大している現状がある。 このため、令和2年度からタクシーを活用した町内をどこでも定額で移動することができる「定額タクシー」制度を実施している。タクシーによる輸送支援は、利用者からの評価も高く、中山間地域にとって非常に有益な移動手段であり、最終的にタクシー輸送を柱に町の公共交通体系を確立させていきたいと考えている。 神石高原町では、合併時21路線あった民間路線バスが現在3路線にまで減少した。廃止された路線には、高校生の通学に必要な路線もあったため、町営路線バスとして2路線を引き継いで運行している。 また、廃止により拡大した生活交通の空白地帯をカバーするため過去には乗合タクシーや定時定路線のバス事業を実施してきたが、集落が点在する神石高原町では非効率になってしまい、利用者にとっても利便性の低い対策となっていた。 こうした状況の改善を図るべく、平成29年度よりタクシー助成制度を導入し、利便性の向上と効率的・効果的な財政支出へ繋がったが、事業費総額は年々増加する傾向にあり、財源の確保が喫緊の課題となっている。 タクシー助成制度は、中山間地域における路線バスの代替手段として高齢者の生活に欠かせないものであるが、国や県の補助メニューや特別交付税の対象として定められている路線バスやデマンド交通と違い、支援メニュー等が存在していない状況である。 タクシー輸送を公共交通として位置づけ、地域公共交通の安定的確保に向け財政的な支援をお願いしたい。	04 安芸高田市 05 安芸太田町 08 神石高原町
6	02 地域政策局	1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	(5) 郊外路線のフィーダー化への対応	■<u>郊外路線のフィーダー化への対応</u> 国土交通省は地域間幹線補助路線に関する生産性向上の方針を示し、具体的な取り組みとして郊外路線のフィーダー化の検討が進んでいる。 フィーダー化により、既存バス事業者は路線撤退となり路線継続のためには関係自治体で代替輸送を運行することとなる。規模を縮小する等、効率的な交通体系を検討することとなるが、分断化により補助要件を満たせず「地域間幹線補助」から外れることになる。また収益性の低い地域の運行となることから、補助及び収益部分が激減し、市町の負担が増大することが見込まれる。 公共交通の維持に関しては、利用者の減少とニーズの多様化に対応するため、年々その負担額が増加傾向となっている。 地域間幹線系統がフィーダー化されると、国の補助対象から外れることになり、現在の路線、便数を確保することは困難になると想定しており、新たな県の支援策を検討いただきたい。	04 安芸高田市 05 安芸太田町
7	02 地域政策局	1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	(6) 広域的乗合バス路線に対する補助金交付要件の緩和及び補助額の増加	■<u>広域的乗合バス路線に対する補助金交付要件の緩和及び補助額の増加</u> 広域的乗合バス路線は、生活交通路線として自動車等を持たない人にとって、重要な移動手段となっている。しかし、人口減少に伴い利用者が減り、バス事業者が事業を継続することが難しくなっている。さらに、広域的乗合バス路線の再編により、都市部と郊外部に路線のフィーダー化を行った場合、利用者数の減少が見込まれる郊外部の路線について、輸送量・平均乗車密度等の要件を緩和し、再編後の路線に対して県の補助金が交付されることを要望する。	06 北広島町
8	02 地域政策局 【新規】	1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	(7) 持続可能な地域交通手段の維持・充実にに向けた支援	■<u>持続可能な地域交通手段の維持・充実にに向けた支援</u> 県においては、公共交通の目指す姿やその実現に向けた方向性を示す「広島県地域公共交通ビジョン」を、今後2年間を目処に策定されると伺っている。本市においても分科会を通して地域の実情を訴えていくので、赤字補填的な支援だけでなく運行形態や交通モードも含めた、広域的な地域交通手段の確保に関する方針を示していただきたい。	01 府中市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
9	02 地域政策局	2 ウィズコロナを見据えた対策及び支援策の充実強化	(1) コロナ禍における交通事業者の事業継続に向けた支援	■<u>コロナ禍におけるバス事業継続に向けた支援</u> コロナ禍における交通事業者の経営状況は、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に伴う外出自粛が断続的に続いたことにより、運送収入がコロナ前まで回復していない状況にある。特に中山間地域を運行するJRやバスなどのローカル線は、人口減少や少子高齢化により、従来から厳しい経営状況にあり、このような状況がさらに続けば、路線廃止や経営危機に直結しかねない。 県においては、令和2年度から令和4年度の3年間、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、県内の交通事業者を支援いただき、感謝を申し上げます。引き続きJRや高速バス、タクシーを含めた公共交通事業者に対し、コロナ禍の影響が収束し、需要が回復するまでの間、国における新たな支援制度の創設を、国へ働きかけていただくよう要望する。	01 府中市 03 庄原市
10	02 地域政策局	3 中山間地域活性化事業の推進及び支援策の充実強化	(1) 新たな過疎債の財源確保	■<u>新たな過疎債の財源確保</u> 過疎対策については、昨年度、新たに「過疎地域持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行され、過疎地域における持続的発展を支援するため、人材の確保及び育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上などに全力で取り組むことが重要であるとされた。 本市においては、平成16年度に甲奴郡上下町を編入合併後、ハード・ソフト両面から積極的な過疎対策を講じてきたが、取り組むべき課題は山積しており、対応すべき事業に必要な現下の財政運営についても厳しい状況にある。 引き続き、過疎地域において、特に重要な財源となっている過疎債については、新たに策定した過疎計画を着実に実施していくためにも、市町における必要額を確実に措置していただけるよう、国に対して強く働きかけていただきたい。	01 府中市
11	02 地域政策局	4 合併建設計画における県事業の推進及び市町事業支援策の充実強化	(1) 合併建設計画の実施及び市町事業の実施に係る財政支援	■<u>合併建設計画の実施及び市町事業の実施に係る財政支援</u> 合併により建設計画に基づいたまちづくりを推進している。しかし、財政悪化に伴い長期総合計画や公債費負担適正化計画の見直し等、財政健全化に鋭意取り組んでいるが、財源確保までには至っていない。 この計画の実現のための財源確保とまちづくりへの助言をお願いしたい。	協議会提案

令和５年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
1 2	03 環境県民局	1 観光振興の推進及び支援策の充実	(1) 神龍湖に漂流した流木や廃棄物等の除去及び効果的な水質浄化策	■神龍湖に漂流した流木や廃棄物等の除去及び効果的な水質浄化策 帝釈川ダムの建設によりできた神龍湖は、全長18kmに及ぶ渓谷「帝釈峡」の中心として、年間およそ16万人が訪れる一大景勝地となっている。 近年、頻発する豪雨により漂着していた流木や廃棄物等については、県の調整及び支援を受け、中国電力(株)・庄原市・神石高原町が役割分担をして撤去・処分を行っている。 県において令和４年度も予算措置をいただいているが、多発するゲリラ豪雨等により、流木や廃棄物等が漂着する状況が頻繁に生じており、景観及び観光業への影響が懸念されることから、定期的な撤去・処分の取り組みをお願いする。 また、近年、夏場到大発生するアオコ対策については、平成28年４月に学識経験者・広島県・中国電力(株)で構成する「帝釈川貯水池水質改善対策検討会」が設置され、これまでアオコ流出防止フェンスの設置やダムのフラッシュ放流といった水質改善対策が実施されている。フラッシュ放流については、一定の効果があることが確認され、試験運用を経て、今年度より本格的に運用されている。 しかしながら、本年も大量のアオコが発生しており、湖水の透明度の低下や魚の酸欠死等による悪臭等に対し、観光客からの苦情が増加しており帝釈峡本来の魅力である景観を著しく損なっている。 国定公園としての自然環境の保全や自然景観の維持・促進を図るためにも、より一層の水質改善に向けた対策を講じられるようお願いする。	03 庄原市 08 神石高原町
1 3	03 環境県民局	1 観光振興の推進及び支援策の充実	(2) 国定公園帝釈峡内のトイレの整備	■国定公園帝釈峡内のトイレの整備 庄原市東城町と神石高原町にまたがる国定公園帝釈峡は、延長18kmの帝釈川流域とその下流の神龍湖及び天然橋「雄橋」に代表される全国有数の名勝地であり、令和５年は名勝指定を受け100年、国定公園の指定を受け60年と記念すべき年を迎える。 しかしながら、国定公園帝釈峡の遊歩道等に設置されているトイレは老朽化が著しい状態となっており、来訪者が安心して利用できるトイレが不足している状況である。 本年５月に焼失した神龍湖駐車場トイレ及び、上帝釈第一・第二駐車場トイレについては令和４年度に設計を行い、令和５年度より順次整備予定と伺っており、また、断魚溪からマス池間の２箇所についてもトイレ再築に向けた検討を進めていただいているところであるが、トイレ施設は快適に観光を楽しむための必須条件であることから、老朽化が顕著な全てのトイレを、新しい生活様式に対応した快適で清潔な洋式トイレに整備していただくよう要望する。	03 庄原市 08 神石高原町
1 4	03 環境県民局	1 観光振興の推進及び支援策の充実	(3) 国定公園帝釈峡遊歩道の復旧及び整備	■国定公園帝釈峡遊歩道の復旧及び整備 庄原市東城町と神石高原町にまたがる国定公園帝釈峡は、遊歩道への落石や倒木により平成８年から一部通行止めの状態が続き、来訪者数減少の一因となっている。 現在、迂回ルートを利用いただく対策を行っているが、帝釈峡固有の自然美豊かな渓谷を満喫できるコースとはいえず、地域振興に影響を及ぼしている。 広島県を代表する観光資源である帝釈峡一帯の地域振興を図るためにも、素麺橋から柏岩橋までの区間及び神龍湖駐車場から休暇村帝釈峡までの通行止め区間の解消に向け早期の対策を講じるよう要望する。 加えて、広島県において検討を進めている水路を活用したルートをはじめ、帝釈峡の魅力を感じられる新たなルートの実現に向けた調査等の取り組みを喫緊に進めていただくよう要望する。	03 庄原市 08 神石高原町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
1035	環境県民局	1 観光振興の推進及び支援策の充実	(4) 国定公園「比婆山連峰」の環境整備	■国定公園「比婆山連峰」の環境整備 国定公園比婆山・吾妻山は、神話と自然の宝庫であり、初夏から紅葉時期にかけて多くの登山客に親しまれている。 一方で、国定公園内には、危険な登山道や老朽化したトイレ等があり、利用者が安全で安心して利用できる施設整備が求められている。 吾妻山の登山道は、近年の豪雨等の自然現象により著しく浸食を受け、登山者にとって歩行困難な状況である。県においては、令和元年度より予算化し整備を進めていただいているが、整備の必要な箇所が多いため、引き続き取り組みを進めていただくようお願いする。 令和3年度に、立烏帽子駐車場のトイレを再築していただいたが、出雲峠のトイレについても来訪者が安心して使用できるよう、より衛生的な整備をお願いする。 県民の森は、キャンプ場をはじめとする施設の老朽化により、利用者のニーズに十分対応できていない状況となっているため、利用者ニーズに沿ったキャンプ場施設等の整備をお願いする。 吾妻山山頂施設地区については、現在、旧休暇村吾妻山ロッジ及びキャンプ場が利用休止となっており、多くの登山客から早期再開を待ち望む声が上がっていることから、同施設の一日も早い再開と、トイレ等の環境整備を進めていただくよう要望する。	03 庄原市
1036	環境県民局	1 観光振興の推進及び支援策の充実	(5) 中山間地域の観光交流の推進	■中山間地域の観光交流の推進 広島県を代表する伝統芸能「神楽」を活用した観光プロモーション（大都市圏）の実施などを行い、神楽鑑賞を目的とした神楽ファンの拡充を図るとともに、2025年に開催される大阪万博への招聘に向けた取り組みを進める必要がある。 これには、県内全域を対象とした神楽団体の組織（協議会等）を立ち上げ、取組みを一体的に進める必要がある。このため、県には組織の立ち上げや運営に、主体的な支援を要望する。	04 安芸高田市
1037	環境県民局	1 観光振興の推進及び支援策の充実	(6) 西中国山地国定公園内の観光案内看板等の整備	■西中国山地国定公園内の観光案内看板等の整備 安芸太田町の西北の一部地域は、西中国山地国定公園に指定されており、その中核に、全長16kmに及ぶ大渓谷「三段峡」を擁している。三段峡は、奥入瀬渓流や上高地、黒部峡谷等とともに国の特別名勝（渓谷の部では全国で6箇所）に指定されている。 しかしながら、多発するゲリラ豪雨等の自然現象により、遊歩道への落石や倒木が頻繁に発生し、現在でも一部通行止めがある。県において、令和4年度に予算化し整備をいただいているが、整備の必要な箇所が多いため、引き続き取り組みを進めていただくようお願いする。 県有施設である三段峡内の公衆トイレは、県事業として整備を適宜行っていたところであるが、一部洋式化が進んでいないため、来訪者が快適で清潔な洋式トイレに整備していただくよう要望する。 一方、県内最高峰の恐羅漢山、草原の山100選に選出された深入山などの看板は、破損や腐食等が進んでいるが、整備が手つかずの状況となっているため、多言語化を含めた整備をお願いする。また、登山道も、豪雨等により著しく浸食され登山するのに困難な箇所があることから、県整備箇所の整備を進めていただくとともに、町整備箇所についての修繕等に対する支援をお願いする。	05 安芸太田町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
108	03 環境県民局 【新規】	2 社会経済情勢等の変化に応じた中小企業・小規模事業者に対する支援策の充実	(1) カーボンニュートラルの推進に向けた県のロードマップ提示と実現支援	■<u>カーボンニュートラルの推進に向けた県のロードマップ提示と実現支援</u> 脱炭素社会の実現に向けた世界的な流れが巻き起こっており、我が国においても、「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、カーボンニュートラル、ゼロカーボンの政策が大きな柱として示されている。 カーボンニュートラルの実現は産業におけるエネルギー構造を抜本的に変えるものであり、個々の企業努力だけでは対応困難な課題も多いことから、製造業を中心とした企業はもとより、グリーン成長戦略において成長分野とされている食料・農林水産業についてもその対応にかかる支援を要望する。 特に、中山間地域における農林（水産）業の更なる発展は、温室効果ガスの吸収源として役割が期待される森林・林業の活性化を中心として重要な課題であり、森林資源の活用について県としてのロードマップを示し、積極的な支援をお願いしたい。 さらに、中山間地域において再生可能エネルギーを生み出すために設置されている太陽光発電施設や風力発電施設については、大規模な林地開発などによる自然環境への影響や、豪雨時の災害発生の可能性に対する不安の声がある。防災面でのさらなる配慮と、20年後といわれる太陽光発電施設廃止後の原形復旧（施設の完全な撤去と安全な処分、森林の保全措置など）のあり方についても検討いただきたい。 併せて、太陽光のみならず、風力、中小水力、バイオマス、太陽熱といった再生可能エネルギーの導入において市町の取り組みを加速できるよう必要な予算の確保に努めるとともに、出力の不安定な再エネの導入やEV普及促進に不可欠な蓄電池の普及に取り組んでいただきたい（蓄電池製造工場の誘致、設備増強支援や税制優遇等の製造者側への支援、EV導入等を含むユーザー側への支援、さらには蓄電池の製造・導入コストの低減等）。	01府中市
109	03 環境県民局	3 その他の要望	(1) ツキノワグマによる農業被害及び生活環境被害を防止するための効果的な対策の実施	■<u>ツキノワグマによる農業被害及び生活環境被害を防止するための効果的な対策の実施</u> ツキノワグマについては、第一種特定鳥獣（ツキノワグマ）保護管理計画から第二種特定鳥獣保護管理に移行されたところであるが、その被害対策に苦慮している。最近では農業被害に加えて、集落内に頻繁に出没し徘徊するなど生活を脅かす存在となり、ツキノワグマと集落との間で軋轢が生じている。 県内のクマ生息数は1,300頭と推定され、平成16～17年調査時から増加し、分布域も拡大しており人身被害を最優先とする観点から捕獲圧を高める必要がある。 ついで、第二種特定鳥獣管理計画に有害捕獲等による頭数管理を盛り込むとともに、精密な生息調査の実施をお願いする。	04 安芸高田市 05 安芸太田町
200	03 環境県民局	3 その他の要望	(2) 地域自然資産区域における自然環境の保全及び持続可能な利用の促進に関する法律に基づく地域計画の策定推進	■<u>地域自然資産区域における自然環境の保全及び持続可能な利用の促進に関する法律に基づく地域計画の策定推進</u> 西中国山地国定公園、特別名勝三段峡は観光地として多くの県民や県外からの観光客を受け入れている。地域の自然環境を保全し、持続可能な利用を促進するためには、公的資金を用いた取組みに加えて、利用者による負担、民間団体等が寄付金を募って行う管理等も視野に入れた取組みが必要である。 西中国山地国定公園の維持管理、保全に関しては、県により安全対策や衛生施設等の整備を実施していただいているが、ソフト面及びハード面のさらなる取組みが必要である。利用者の負担（入域料の収受）の検討を行う必要がある。 三段峡の自然環境の保全及び維持可能な利用を推進するために、広島県を中心に協議会を設置し、入域料を安全対策や衛生施設整備等の経費として充ててくれることの検討をお願いする。	05 安芸太田町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
2 1	04 健康福祉局	1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	(1)-1 医師、看護師等医療従事者の確保、医療体制の充実	■<u>地域医療提供体制の維持・確保に向けた医師、看護師等の配置・確保</u> 府中市上下町にある府中北市民病院は、『広島県医師確保計画』における『医師少数スポット』の設定地域となっている。計画に基づいた医師偏在の是正に向け、ふるさと枠の医師の配置等、早急で着実な医師配置を要望するものである。 また、当該病院は、県北部地域の医療機関との関連も強いことから、二次保健医療圏域を越えた県北部地域における医療機関との連携・支援を図っている。特に、令和4年に入ってから小児科・婦人科医（非常勤）の外来診療日が減少（週4日⇒週2日午前のみ）しており、他の医療機関からの診療支援も得られない状況にあることから、医師派遣等において県からの支援も併せて要望するものである。 加えて、市立湯が丘病院（措置入院指定病院）は、病院開設以来、県東北部の精神科医療を担っているが、立地条件等から医療スタッフの確保が進んでおらず、特に医師の確保には大変苦慮している。将来に向けて安定した病院運営を行うため、必要な医師確保に向けた取り組みに特段のご配慮をいただきたい。	01 府中市
2 2	04 健康福祉局	1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	(1)-2 医師、看護師等医療従事者の確保、医療体制の充実	■<u>看護師等医療従事者の確保</u> 看護師が不足している中、看護師養成施設は県内にも多数あるが、南部に集中している。 県北地域唯一の看護師養成施設である県立三次看護専門学校の入学定員及び入学時の県北推薦枠を維持し、県北地域の医療機関の看護師不足に対応するよう要望する。	03 三次市
2 3	04 健康福祉局 【新規】	1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	(1)-3 医師、看護師等医療従事者の確保、医療体制の充実	■<u>医師の確保並びに地域医療への定着</u> 現在、本市の休日夜間救急診療所は、JA吉田総合病院が中心に担っているが、休日の日中の診療は、市医師会所属の医師がJA吉田総合病院内で診療を行っている。市医師会所属の医師は高齢化しており、休日の診療は負担が大きい状況になっている。本市の医療を維持継続するためには、医師の確保が不可欠であり、引き続きふるさと枠医師等の配置を要望するとともに、地域医療への定着について、対策を講じていただきたい。	04 安芸高田市
2 4	04 健康福祉局	1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	(1)-4 医師、看護師等医療従事者の確保、医療体制の充実	■<u>中山間地域の医療提供体制を確保するための継続した医師の派遣と財政支援</u> 地域医療を支えている中山間地の中小病院では提供する医療の質を問う前に、最低限必要な医療スタッフの確保が急務となっている。 医師を含む医療者を毎年過不足なく確保するには病院単独の努力では困難な状況である。 その中で、中山間地域では高齢化と人口減少が進み、地域の病院経営は厳しさを増しており、国や県は、2025年を見据えた病床の機能分化と削減による地域完結型医療の推進等の施策を実施している状況にある。 人口減が続く中山間地域において医療機能の縮小は避けられない状況だが、救急医療の実施に必要な医療者の確保は急務であり、叶わなくなった時から地域医療の崩壊が起こると想定される。 については、地域住民が生活するために不可欠な医療を継続的に提供するため、当院だけでなく中山間地の入院施設を完備している中核病院において、常勤医師や看護師等のメディカルスタッフが円滑に確保されるシステムの構築と不採算な医療に対する財政措置を強く要望する。	05 安芸太田町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
205	04 健康福祉局 【新規】	1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	(1)-5 医師、看護師等医療従事者の確保、医療体制の充実	■ポストコロナを見据えた拠点病院と地域中小病院を繋ぐオンライン診療支援システムの構築 コロナ禍で大きく前に進んだオンライン診療は、主にかかりつけ医とＩＴリテラシーの有る患者との間で進んだと思われるが、診療支援に利用されているのは実証試験くらいで、実臨床での展開例は殆どない。 中山間地の各病院の専門外来と広島大学病院の専門科との間をオンラインで結ぶオンライン診療支援システムが構築されれば、中山間地の数カ所の病院と大学病院とを同時に結び、効率よく地域の患者に専門的診療を提供できる可能性が有り、大学病院の医師の負担軽減にもつながる。 国、県のＤＸの一環として広島大学病院と中山間地の公立・公的病院で形成する中山間地病院長コンソーシアムによるオンライン診療支援システム構築検討委員会の発足と財政支援を要望する。	05 安芸太田町
206	04 健康福祉局	1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	(1)-6 医師、看護師等医療従事者の確保、医療体制の充実	■医師、看護師等医療従事者の確保、医療体制の充実 北広島町の対10万人当たり医療施設従事医師数は、県平均より低いという医師の高齢化もあり、地域医療の維持が懸念される。とりわけ、産科医や小児科医及び訪問診療医の確保が困難となっている。また町内の看護師不足の常態化に加え、高齢化も進んでいる現状から、看護師を継続して確保・定着できる仕組みが必要となっている。 医療従事者確保のため、町は医師看護師育成奨学金制度を設け取り組んでいるが、中山間地域の1自治体では独自に医師・看護師を確保することが厳しい状況にある。 人口減少や医療需要の変化、診療報酬改定等により、中山間地域の医療機関の経営は官民問わず、大変厳しい状況にある。日常生活圏域に少なくとも1医療機関が維持できるよう、ふるさと枠医師等の配置については、中山間地域においては公的医療機関だけでなく、民間医療機関への配置も含めた医師確保が必要である。広島県北西部地域医療連携センターを拠点とした医師・看護師の人材派遣体制の構築を要望する。 また、中山間地域の地域医療体制を維持する上には、医師及び看護師の確保・定着が重要である。特に、地域包括ケアシステムを推進していくうえでは、在宅医療に精通した医師及び看護師の確保に向けた支援の強化及び財源措置を講じることを強く要望する。	06 北広島町
207	04 健康福祉局	1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	(1)-7 医師、看護師等医療従事者の確保、医療体制の充実	■地域医療確保対策の推進 世羅町内の医療機関においては、医師の高齢化などにより、診療所閉院や診療時間の縮小等、現在の診療体制を維持することが難しくなっている。また、将来あるべき医療体制の構築に向け、核となっていた公立世羅中央病院は、常勤医師が少なく、救急患者、当直など勤務する医師等の負担が大きくなっている。 医療スタッフの確保には、中山間地域の医療機関においても高度な研修やスキルアップができる体制の整備、財政支援などが必要である。 地域医療体制の維持・充実を図るため、いずれの地域においても必要な人数の医師、看護師等の医療スタッフが確保されるよう、引き続き支援を行うことを要望する。	07 世羅町
208	04 健康福祉局	1 住民の命や健康を守り、安心して出産・子育てができる地域医療供給体制の維持・確保	(2) 小児医療の充実及び発達支援体制の充実	■小児医療の充実及び発達支援体制の充実 おたふくかぜは罹患すると重篤化しやすく、入院となることも多いが、本町には子どもが入院できる施設がない。また、予防接種の経済的負担も大きいことから、本町においては、保護者の身体的・心理的・経済的な負担感の解消のため、おたふくかぜワクチンの予防接種費用の助成を行っている。県におかれましては、定期接種化に向け、引き続き国への働きかけをお願いしたい。 発達障害のある子どもの診察・助言を受けることができる専門医が不足しており、診察を受けるまでに数か月かかることもある。県におかれては専門医の養成にご尽力をいただいているところですが、引き続き格段のご配慮をお願いしたい。	08 神石高原町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
209	04 健康福祉局	2 介護保険制度を始めとした安定的な社会保障制度の運営支援	(1) 介護従事者の確保等に対する新たな支援制度の創設	■介護従事者の確保等に対する新たな支援制度の創設 全国的に要介護認定者が増加し、介護従事者が不足することが見込まれる中、圏域人口が少ない中山間地域では、大規模な介護事業所を多く抱える都市部に人材が集中する傾向もあって、介護従事者の確保が一層困難となっている。特に、訪問系サービスでは、新規の就業者がほとんどなく、訪問系サービスの介護従事者の約7割が50歳代以上である。 今後、自宅で暮らす一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、要介護度の重度化により、訪問系サービスへのニーズはますます高まっていくが、介護従事者の減少や高齢化により、中期的にはサービス量が確保できなくなることが懸念され、長期的には訪問系サービスの持続が困難になることが考えられる。新規の介護人材の育成・確保が喫緊の課題となっている。 現在、当市では、福山平成大学と連携し、介護に関心のある人材と介護事業所をマッチングして介護の補助業務に関わってもらった仕組みや、外国人介護従事者が必要とする生活必需品に対する補助制度等を実施し、介護人材確保に取り組んでいる。 また、市北部地域では、子育て世代から高齢者までが交流できる多世代交流拠点機能や総合相談窓口機能をもつ施設を整備し、地域の医療・介護・福祉事業者により、地域内での初任者研修実施や人材交流などの連携体制を構築し、高校での授業に参加していくことで、介護人材を確保し、地域の訪問系サービスの持続に向けて取り組んでいる。 県においても喫緊の課題である人材確保について、財政的支援の充実を国へ働きかけるよう要望するとともに、地域内で事業者間ネットワークを結び、人材確保に取り組む市町に対しての支援を要望する。	01 府中市
300	04 健康福祉局	2 介護保険制度を始めとした安定的な社会保障制度の運営支援	(2)-1 介護保険制度の財政支援の充実及び介護職員の確保支援・強化	■介護現場における人材確保に向けた対策の強化 高齢化・過疎化が進む本市においては、「高齢者単独世帯」の増加等に伴い、介護サービスの需要が増加する一方で、労働力人口の減少により人材不足は深刻な状況となっており、一部の介護サービス事業所では人材確保が困難となり、サービスを廃止せざるを得ない事業所もある。 介護職員は他産業に比べ、賃金水準が低く、労働の心身面への負担が大きいことなどから離職率が高く、訪問介護等の訪問系サービスでは、介護従事者の高齢化が著しい。 また、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策等への対応により、介護現場における業務負担は増加している状況にある。 こうしたことから、介護人材の確保は一層厳しくなることが予測され、介護が必要になっても高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために、介護人材の確保・定着が喫緊の課題となっている。 このため、令和4年2月からは介護職員を対象に、収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるため、介護職員処遇改善支援補助金の制度が創設されている。また、10月以降については介護職員等ベースアップ等支援加算など、臨時の介護報酬改定により、処遇改善等の施策が講じられているが、将来にわたり介護サービスが安定的・継続的に提供されるよう、県においては引き続き人材不足の実態を把握するとともに、介護現場に携わる全ての職員を対象とする処遇改善をはじめとした、介護人材の確保対策を強化するよう、国への働きかけを要望する。	03 庄原市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
3 1	04 健康福祉局	2 介護保険制度を始めとした安定的な社会保障制度の運営支援	(2)-2 介護保険制度の財政支援の充実及び介護職員の確保支援・強化	■<u>介護保険制度の財政支援の充実及び介護職員の確保支援・強化</u> 住み慣れた地域で、安心して暮らしていくことのできる町づくりのためには、過疎・高齢化が進む本町のような中山間地域にあっても、介護事業所の運営が可能で、且つ介護人材が確保できる体制にあることが必要である。 持続可能な介護体制を確保するために、特に中山間地域において慢性的な不足が続く介護人材の確保、及び処遇の改善について積極的な措置を講じるなど、引き続き、国に対して働きかけること。 また、介護支援専門員の人材不足を解消するため、資格の更新にかかる研修内容等の見直しを国に働きかけるとともに、県において研修実施における受講環境への配慮を行うよう要望する。	05 安芸太田町
3 2	04 健康福祉局	2 介護保険制度を始めとした安定的な社会保障制度の運営支援	(2)-3 介護保険制度の財政支援の充実及び介護職員の確保支援・強化	■<u>介護従事者の確保に対する制度等の見直し</u> 中山間地域の介護職員の慢性的不足に併せて、介護支援専門員も同様に人材不足である。介護支援専門員は国家資格ではないが、試験の難易度が年々高度になっている。現場の介護職員が介護支援専門員試験を受験する機会が多いが、介護職場では女性労働者が多く、労働と家庭での勉強の両立が困難な状況がある。結果として合格率の低下につながり、現に就労している介護支援専門員の業務量が増え続けている。 また、介護支援専門員の試験に合格後、実務就労のため実務研修87時間、5年更新までに専門研修課程Ⅰ56時間、専門研修課程Ⅱ32時間の研修受講が必要であり、介護支援専門員の業務が増える中、研修時間と仕事との両立が困難となっている。研修費用も個人の負担となっており、現状の仕組みでは後継者が育ちにくい。 介護支援専門員の業務は増える一方で、受験者数の減少、合格率の低下等により、人材の確保が困難となっている。また、人手不足に加えて、業務が多様化し、働きがいなどが感じにくい現状がある。 介護支援専門員の研修等の負担減と、個々にあった研修内容と受講環境の配慮を強く要望する。	06 北広島町
3 3	04 健康福祉局 【新規】	2 介護保険制度を始めとした安定的な社会保障制度の運営支援	(3) 介護保険事業計画の期間延長	■<u>介護保険事業計画の期間延長</u> 介護保険法第117条により市町村介護保険事業計画を3年を1期として定めることとなっているが、3年では施策実施、効果検証期間が短い。また、介護報酬や加算がその都度変更になり、小規模な自治体で、全てを把握することは困難である。計画策定のためのアンケートの種類も多く、設問数も多いため回答する高齢者の負担が大きい。あわせて、次期の計画策定準備に時間を費やすため、1期の期間を5年程度に延長するよう、国への働きかけを要望する。	06 北広島町
3 4	04 健康福祉局 【新規】	2 介護保険制度を始めとした安定的な社会保障制度の運営支援	(4) 国民健康保険の財政支援措置及び保険料軽減措置の拡充	■<u>国民健康保険の財政支援措置及び保険料軽減措置の拡充</u> 国民健康保険の都道府県単位化を円滑に継続するために、財政安定化基金の増し等の財源確保はもとより、財政支援の拡充が求められている。 また、被保険者の保険料負担軽減については、低所得者層に対する保険料の軽減措置を拡充するとともに、子どもに係る均等割保険料の軽減措置についても、対象範囲を拡大し、子育て世代のさらなる負担軽減を図る必要がある。 国民健康保険の安定運営と被保険者の負担軽減を図るため、国民健康保険の財政支援措置及び保険料軽減措置の拡充について国に強く働きかけることを要望する。 県においては、完全統一保険料の実現のために必要な、各市町間の収納率の格差解消につながる徴収体制の強化に向けた支援を積極的に行うことを要望する。	07 世羅町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
3 5	04 健康福祉局	3 総合的、計画的な 少子化対策の推進及 び支援策の充実強化	(1) 乳幼児医療費 助成制度の拡充	■乳幼児医療費助成制度の拡充 少子化が進行する中、次世代を生み育てる子育て世代・若者世代の定住促進において、出産、子育てに係る社会環境や経済的負担の軽減が重要である。 乳幼児医療費助成は、本来すべての子どもが関わる制度として、全国どの市町村に住んでいても同じ水準で受けられるのが望ましいところであるが、現在は、子育て世代の高い期待に応えるべく各自治体が独自の制度を創設し運営している。 全国的に自治体が乳幼児医療費助成を行っており、各自治体が財源の確保に苦慮しつつも、ほとんどの市町村が独自に対象児年齢の引き上げ(拡大)を図っているのが現状である。地域間の格差を是正するために、県の乳幼児医療費助成の対象年齢を引き上げることを要望するとともに、国策として乳幼児医療費助成制度を早急に創設するよう国に対し強く要望することを求める。	05 安芸太田町 07 世羅町
3 6	04 健康福祉局	3 総合的、計画的な 少子化対策の推進及 び支援策の充実強化	(2) ひとり親家庭 等医療費助成の所得 制限緩和	■ひとり親家庭等医療費助成の所得制限緩和 広島県の補助事業では、ひとり親家庭等医療費助成の受給要件として、対象の世帯が所得税非課税世帯である必要がある。 ひとり親家庭等医療費助成は受給する際の所得制限が厳しいことから、対象者が少数に限られている。所得税非課税世帯ではないが所得が低い世帯では、子どもは乳幼児医療費助成の対象になってもその養育者には医療費助成がない。養育者が安心して働く環境を整備するためにも、ひとり親家庭等医療費の所得制限の緩和を行っていただきたい。 全てのひとり親家庭等の子どもと養育者が、必要とする医療を安心して受けられるように、所得制限を所得税非課税から児童扶養手当の所得制限まで緩和することを要望する。	07 世羅町
3 7	04 健康福祉局	4 ウィズコロナを見 据えた対策及び支援 策の充実強化	(1) 「新しい生活様 式」実現のための放 課後児童クラブ体制 の充実	■「新しい生活様式」実現のための放課後児童クラブ体制の充実 当市は、放課後児童クラブの運営において、配慮が必要な児童の増加や、多学年を受け持つ状況、また、クラブへの保護者の要望等に対応するため、民間委託を行い、利用者の利便性、満足度を高めるよう努めている。 さらに、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、クラブ内での人と人の距離が取れるよう現行の基準を上回る面積を確保する必要があり、施設改修や増設が必要となっている。 また、施設数が増加すれば、新たな支援員の確保が必要となるため、県が実施する認定研修の受講機会の増加による新たな支援員の育成や、より専門性を持った人材の「人材バンク」の設立など、県においても市と連携して人材確保に努めていただきたい。 専門人材確保や新型コロナ対策のための施設改修など、新たな課題に対応する財政支出が増える中で、県による財政支援を行うとともに、国の整備交付金を活用する際の申請要件の緩和や補助率の嵩上げを、国に対して働きかけるよう要望する。	01 府中市
3 8	04 健康福祉局	5 その他の要望	(1) 食品衛生法の改 正に伴う漬物製造業 営業許可に係る施設 基準の緩和	■食品衛生法の改正に伴う漬物製造業営業許可に係る施設基準の緩和 漬物製造業が新たに許可業種となり、既存生産者の営業許可取得の猶予期間が終了する令和6年6月1日に向け準備を進めている。 安芸太田町では、道の駅周辺にある太田川産直市などの産直市場へ漬物を出荷されている生産者があり、漬物等加工食品は人気商品となっており、産直市場での売上高の割合も高い。 営業許可を取得するためには、自宅の台所とは別の調理場が必要となるが、現在生産出荷されている生産者のほとんどは基準に合致する施設の設置が困難であり、生産出荷を辞めざるを得ない状況である。一般的なスーパー等では流通しない商品のため、出荷がなくなれば産直市場としての魅力を失くすとともに生産者の所得の減少、生産意欲の低下、ひいては食文化の継承の衰退等、その影響は非常に大きいものがある。 少しでも出荷者が減ることを防ぐため、許可を受けるための対応が極力少なくなるよう、衛生上支障のない範囲で、施設基準の緩和を設けていただきたい。	05 安芸太田町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
39	04 健康福祉局 【新規】	5 その他の要望	(2) 地域生活支援事業における国庫補助の確保	■<u>地域生活支援事業における国庫補助の確保</u> 障害者が安心して暮らすことができる地域社会実現のため、地域生活支援事業の国庫補助については十分な予算を確保し、補助金交付要綱どおりの補助率（100分の50）で交付するよう国に対し強く働きかけること。	05 安芸太田町
40	04 健康福祉局 【新規】	5 その他の要望	(3) がん患者に対するアピアランスケアの充実	■<u>がん患者に対するアピアランスケアの充実</u> 令和4年度から県においてがん患者のウィッグ購入費助成制度が創設された。助成上限など全国的にも高い基準となっており、がん患者やご家族の心理的・経済的負担の軽減と社会参加の促進、療養生活の質の向上につながるものと認識している。この助成制度については、市町独自で上乗せ助成などの検討がなされている市町もあるようだが、県内どこに住んでいても公平に助成が受けられるよう、県における現行制度の継続実施を要望する。あわせて、補整具など助成対象の拡大も検討していただきたい。	07 世羅町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
4 1	05 商工労働局	1 観光振興の推進及び支援策の充実	(1)-1 中山間地域の観光交流の推進	■中山間地域の観光交流の推進 平成27年の「中国やまなみ街道」の全線開通により、沿線への観光客数は大幅に増加したが、全線開通の効果も落ち着きを見せる中、令和2年から新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大したことにより、本市のみならず観光客数は激減している状況にある。 三次市では、令和3年9月に「三次市観光戦略」を策定するとともに、令和4年4月1日からは、観光推進組織の強化も視野に入れて、(一社)三次観光推進機構と(一社)三次市観光協会が統合された、新たな三次版DMOとの協働により、取組をスタートしたところである。 また、三次市と庄原市は、備北観光ネットワーク協議会を組織し、備北地域ならではの体験をベースとした子育てファミリー向けの体験プログラム(びほくコードモトフィールド)の展開やインバウンド誘致など、備北地域としてお互いに連携、補完し合いながら観光客の誘致を図っている。 これまでの「にぎわいの創出」から「稼ぐ力の創出」をめざし、宿泊客の増大や体験型観光商品の造成などに取り組んでおり、県においては、「観光プロダクト開発促進補助金」等で中山間地域にも支援をいただいているところである。 今後、ウィズコロナ社会における観光産業の創出と活性化、インバウンド誘客による観光需要の拡大を考えると、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)は、一つのチャンスと捉えることができる。 県においては、2030年までに観光消費額8,000億円を目標値として掲げ、様々な取り組みを進められているが、山陽から中山間地域への誘客促進が図られるよう、インバウンド誘客も視野にいれた宿泊と連動させた体験型観光プロダクトの開発等に一層の支援を要望する。	02 三次市 03 庄原市
4 2	05 商工労働局 【新規】	1 観光振興の推進及び支援策の充実	(1)-2 中山間地域の観光交流の推進	■中山間地域の観光交流の推進 広島県を代表する伝統芸能「神楽」を活用した観光プロモーション(大都市圏)の実施などを行い、神楽鑑賞を目的とした神楽ファンの拡充を図るとともに、2025年に開催される大阪万博への招聘に向けた取り組みを進める必要がある。 これには、県内全域を対象とした神楽団体の組織(協議会等)を立ち上げ、取組みを一体的に進める必要がある。このため、県には組織の立ち上げや運営に、主体的な支援を要望する。	04 安芸高田市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
4 3	06 農林水産局	1 自然災害復旧・復興事業の推進	(1) 小規模崩壊地復旧に係る事業の促進及び予算の確保	■小規模崩壊地復旧に係る事業の促進及び予算の確保 近年の局地的な集中豪雨等により、家の裏山の土砂災害が多数発生しているが、工事実施箇所数が限られてしまい、被災箇所の多くが工事実施できない。 小規模崩壊地復旧事業を促進するため、これまで以上の財源措置を求める。	04 安芸高田市
4 4	06 農林水産局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(1) 治山事業等による防災・減災対策の推進	■治山事業等による防災・減災対策の推進 近年、集中豪雨の頻発など異常気象の増加による災害の激甚化が懸念されており、両市において多くの災害が発生し、危険箇所について対策要望を行っている。土石流、がけ崩れなどの災害から住民の安全安心を確保するため、早期に計画的な山地災害対策が行われるよう要望する。 また、小規模崩壊地復旧事業についても、計画的な工事が行えるよう予算規模の拡充及び継続的な予算確保について要望する。	01 府中市 04 安芸高田市
4 5	06 農林水産局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(2) 農業用ため池廃止に伴う下流水路等整備の財政措置	■農業用ため池廃止に伴う下流水路等整備の財政措置 特定農業用ため池に指定されたもののうち、ため池利用者の高齢化と減少により、管理が十分でない箇所や受益地もなく管理者不明の箇所が存在しており、管理体制を確保することが困難なため池について、廃止を検討している。 原則、廃止は堤体の掘り割りを考えているが、ため池の下流の水路等の流下能力不足などによる水路整備を必要とする箇所が多く存在している。 今後、ため池の防災事業を計画的に推進していくためには、下流水路整備は、非常に重要な解決すべき課題である。 利用しなくなった特定農業用ため池の統合や廃止を計画的に進めていくために、下流水路等の整備にかかる費用について、現行制度の拡充や新たな補助制度などの財政措置を要望する。	01 府中市 04 安芸高田市
4 6	06 農林水産局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(3) 浸水（排水路）対策事業実施の確実な推進	■浸水（排水路）対策事業実施の確実な推進 平成30年7月西日本豪雨や近年頻発する局地的な豪雨及び台風等に伴い、芦田川の水位上昇や排水路が脆弱であることにより市内各地で民家の浸水被害が多発しており、住民からも改善要望があり、住民とともに早期に改良計画を検討し改善を図る必要がある。 現在、当市では、浸水対策を進めるにあたり、市街地区域における排水対策について現地調査し、対策について検討を行っている。改良するにあたっては、長期的な視点も必要と考えている。さらに、人口減少や農業従事者の減少・高齢化による樋門の管理等の課題も県内全域のものとする。 排水路等の改良や樋門操作の自動化・遠隔化による管理の省力化等の整備にあたり、自治体の負担を軽減するよう財政的支援について、更なる交付金の拡充や起債措置などの財政的支援を要望する。	01府中市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
4 7	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(1)-1 新規就農者支援の拡充	■新規就農者支援の拡充 本市は、減少していく農業者数に対して、現在の担い手確保策では現状維持すら到底間に合わないという危機感を持っている。 新規就農者の確保のためには、体験や農業塾、アルバイトといった段階的に農業に関わる機会を提供することや、定年帰農・田園回帰志向を持つ者や農学生に対する相談窓口の設置など多様な担い手確保策が必要であり、県で実施されている就農相談体制と連携し取り組んでいきたいと考えている。 また、農業を持続可能なものにするためには、「稼げる農業」を実現する必要がある、そのためには、生産から販売だけではなく、ブランディング、商品開発、営業、ロジスティクスなどといった各分野の専門性を持つ者との連携に基づく新たな経営モデル（地域商社機能）が必要である。 こうしたことから、農業部門だけでなく、商工労働部門や地域振興部門との強力な連携のもと施策を進める必要があり、県におかれても部局間で連携した取組を推進していただきたい。 なお、農業に対する補助については、国において賄えない部分をフォローしていただき感謝しているところであるが、新規就農者支援において、受益者が複数戸求められることは、平成28年から令和元年までの4年間の年平均就農者数が1.8人（県内23市町での割り戻し）であったことから実態にそぐわない事例であるため、各市町のヒアリングをもとに変更するなど柔軟な対応をしていただきたい。	01 府中市
4 8	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(1)-2 新規就農支援の拡充	■新規就農支援の拡充 当町においては、とまと栽培による新規就農者の育成・確保に努めているところであり、就農に向けた研修制度を創設し、毎年2名の就農者を育成してきたところである。 しかしながら、栽培用ハウス資材の高騰により、初期投資が大きく、就農後の経営に大きな負担となることから、一旦研修生の募集を停止し、対策を検討している。 現在、導入コスト低減を図るため、足場管パイプを活用した低コストハウスの検討も行っているが、広島県単独事業として、こういった低コストハウスも対象とする園芸施設の補助制度の創設を検討いただきたい。	08 神石高原町
4 9	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(1)-3 新規就農者の支援	■新規就農者の支援 ハウス部材の資材費の高騰により、新規就農者の経営開始時における負担が増しており、経営開始時のネックとなっている。 令和4年度から新規就農者の機械・施設導入の初期投資を支援する「経営発展支援事業」については、県の支援額の2倍（補助上限の2分の1）を国が支援することとなっていることから、県内自治体の要望額については、県予算の確保を十分行うこと。また県負担分の地方財政措置については、国への要望を引き続き行うこと。	06 北広島町
5 0	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(2) 多面的機能支払交付金に対する支援等（優良農地の確保）	■多面的機能支払交付金に対する支援等 圃場整備から約40年が経過し、水路・農道の経年劣化による作業効率の低下が生じている。これらの維持・修繕について多面的機能支払交付金（長寿命化）は重要な役割を担っている状況である。このため本年度旧町単位の全地域において広域化組織の設立を行い、今後とも長寿命化事業の取組を推進していくとともに、新規の取組組織の拡充もしていくこととしている。 このことから、円滑な事業の実施ができるよう、国に対して十分な予算額及び交付税措置を働きかけることを要望する。 特に長寿命化事業については、適正な工期が必要なため、地元の事業実施に支障を来さないよう、現状より早い時期に交付額の確定を要望する。 また、水田の雨水貯蓄機能強化（田んぼダム）については、現在400円/10aの交付単価であるが、上記単価での取組は困難な状況であるため、交付単価の見直しを国に働きかけを要望する。	06 北広島町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
5 1	06 農林水産局 【新規】	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(3) 日本型直接支払交付金（中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金、多面的機能支払交付金）の交付単価の見直しと、事務手続き簡素化の国への働きかけ	■日本型直接支払交付金（中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金）の交付単価の見直しと、事務手続き簡素化の国への働きかけ 中山間地域直接支払交付金及び多面的機能支払交付金は、中山間地域の農地及び農業施設等の維持のため、大変有意義に活用されている。 中山間地域等直接支払交付金においては、急傾斜地の基礎単価が田の16,800円に対し、畑は9,200円と著しく安価な単価となっている。本町においては、国の減反政策を契機とした転作により田への祇園坊柿の植栽を大規模に行い、現在では町を代表する特産品となっているが、果樹は畑の単価が適用されるため、安価な単価での交付となっている。有害鳥獣対策や維持管理に多大な経費や手間がかかる現状があるため、単価の見直しについて要望するものである。 また多面的機能支払交付金においては、傾斜地の要件がないとはいえ、田の交付単価が5,400円と、中山間交付金と比較して安価でありながら、事務の取り扱いが中山間交付金と同等であるため、多面的交付金を敬遠し取り組まない集落もあるのが現状である。多面的交付金についても単価の見直し、もしくは中山間交付金との制度の一本化等の抜本的な改正について要望する。 加えて、事務手続きには書類作成が必要であるが、各集落は過疎高齢化により事務処理のできる人材確保に大変苦慮しており、制度の継続利用のため、事務書類や手続きの簡素化について、国への働きかけを要望する。	05 安芸太田町
5 2	06 農林水産局 【新規】	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(4) 中山間地域等直接支払制度の拡充（基礎単価の見直し）	■中山間地域等直接支払制度の拡充 米価下落及び資材高騰等により、平場と中山間地との所得格差が大きくなっている。中山間地域の農業が廃れることのないよう、また担い手農家の安定的かつ持続的な経営が図れるよう、中山間地域等直接支払事業の継続及び平場と中山間地域との所得格差の補償という事業趣旨を踏まえ、地域の実情に応じた交付金額となるよう基礎単価の見直し及び制度の拡充を国に働きかけることを要望する。	06 北広島町
5 3	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(5) スマート農業の推進	■スマート農業の推進 中山間地域における農業従事者の高齢化に伴う、優良農地の耕作放棄地発生防止及び施設園芸等を中心とした園芸産地の弱体化を防ぐ等の課題解決に向けて、スマート農業による労力の省力化・適正管理による品質向上等の取組みをいかに進めていくかが重要である。また中山間地域の園圃等に対する導入効果等の検証が必要である。 令和3年度より事業開始されたひろしま型スマート農業推進事業については、次年度以降も事業を継続するとともに、データ及び成果等の共有について、自治体との連携を図ること。またスマート農業の普及・推進にあたっては、技術の普及に向けたアドバイザーの設置など支援体制の充実を図ることを要望する。	04 安芸高田市 06 北広島町
5 4	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(6) 鳥獣対策の充実（鳥獣専門員の配置等）	■鳥獣対策の充実（鳥獣専門員の配置等） シカ・イノシシを始めとする有害鳥獣による農作物への被害が毎年多く発生し、農家の生産意欲の減退等により、耕作放棄地の発生にもつながっている状況である。特に近年は個々の被害防止の取り組みでは対応できず、地域ぐるみでの取り組みが重要となってきたが、市・町職員だけでは対応が困難な状況である。 県においては毎年研修会の開催・鳥獣被害対策プログラムの支援を行っており、また令和4年度より委託業者による市町の鳥獣害対策専門員専任者の育成及び集落等の被害対策支援を始めているが、今後も市町と連携を行い、専門知識を持った人材による地域ぐるみでの被害対策の取り組みが重要と考える。 有害鳥獣対策に係る実態調査及び市町の取組に対する支援を継続するとともに、委託業者による市町の鳥獣害対策専門員の育成及び集落等の被害対策支援の拡充を行い、被害の実態に応じた対策に取り組むことを要望する。	04 安芸高田市 05 安芸太田町 06 北広島町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
5 5	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(7) 担い手ニーズに対応した農地確保とマッチングの促進	■担い手ニーズに対応した農地確保とマッチングの促進 農業従事者の高齢化に伴い、優良農地の耕作放棄地発生をいかに防ぐかが大きな課題であり、その対策として担い手の育成とともに、農地のマッチングをいかにしていくかが課題となっている。 農地中間管理機構がその役割を担うとされているが、実際には受け手と出し手を市町が調整したものを対応している状況で、担い手への農地集積が進んでいない状況である。 この対策として、令和3年度より農地中間管理機構に県駐在を配置して、担い手情報の収集及び整理・担い手ニーズに対応したマッチング・担い手農地及び農地情報の管理等を行ない、担い手のニーズに対応した農地の確保とマッチングの促進を図るとなっているが、わずか2名程度の配置では取り組みが難しいと思われる。 耕作放棄地発生防止対策に向けては、広島県・農地中間管理機構・各市町（農業委員会・農業振興部局）との連携が重要となってくるため、各農林水産事務所単位での配置等を行なうことを要望する。	04 安芸高田市
5 6	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(8)-1 県営広域営農団地農道整備事業の推進	■県営広域営農団地農道整備事業（備北南部2期地区）の推進 本市東酒屋地区及び三和地区において進めている、農業生産から加工・流通までを一体的に行う広域営農団地の整備及び営農促進の基幹農道整備事業の推進を要望する。	02 三次市
5 7	06 農林水産局	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(8)-2 県営広域営農団地農道整備事業の推進	■県営広域営農団地農道整備事業（芸北第3期）の推進 本路線は北広島町細見から溝口、都志見、西宗、今田へと北広島町を東西に横断連絡する広域農道であり、本路線の整備は、農産物の団地形成や広島広域都市圏地産地消を進める効率的な流通に資するとともに、地域住民の利便性の向上や経済及び文化の発展に大きく寄与する、本町にとっては非常に重要な路線となる。早期供用開始を要望する。	06 北広島町
5 8	06 農林水産局 【新規】	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(9) 自給飼料増産に係る支援制度の拡充	■自給飼料増産に係る支援制度の拡充 新型コロナウイルス感染症の拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻等を起因とした原料供給の不安定化や円安などにより、燃料費や農業用資材が高騰し、農業経営に多大な影響を与えている。 特に、畜産経営における粗飼料・配合飼料の価格は、令和2年と比較すると1.3倍に上昇しており、経営を圧迫している。この状況が続けば、今後、離農につながりかねない。 飼料高騰対策として、配合飼料価格安定制度や緊急経済対策等に対応しているものの、高騰時の一時的な補填でしかない。自給飼料の拡大を図り、輸入飼料に頼らない経営に向けた制度設計が必要である。 飼料の国内自給率を向上させるためには、飼料作物の作付面積を拡大する必要があるため、それを後押しするさらなる支援策が求められる。 これについては、飼料生産を行う耕種農家に対する機械等の導入経費の支援はもとより、生産費と販売額の差額を補填する所得補償制度の導入が必要であると考えことから、新たな制度を創設するよう、国への働きかけを要望する。	03 庄原市 08 神石高原町
5 9	06 農林水産局 【新規】	3 2025広島県農林水産業アクションプログラムにおける県事業の確実な推進及び支援策の充実	(10) 県内産葉物野菜の県内外への新たな販路拡大	■県内産葉物野菜の県内外への新たな販路拡大 「ひろしま活力農業経営者育成事業」により農業経営者として独立する意欲のある若い農業者を育成支援し、高い実績を上げてきた。 広島市農林水産振興センターで1年間の基礎研修、8か月を町内のほ場での実地研修の後、町内で新規就農し、コマツナやホウレンソウ等の葉物野菜を生産しており、令和3年度末現在7名の意欲ある若い農業者が就農している。 広島市と安芸太田町では、この事業を活用し毎年葉物野菜の新規就農者が増加する中で、市場が飽和状態となり、単価が下落している。 加えて、原油・物価高騰により資材費等のコスト高騰により、収益が悪化している。 こうしたことから、県内外へ新たな市場を開拓し、販路拡大を要望する。	05 安芸太田町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
60	06 農林水産局	4 未来・将来に向けた林業振興の推進及び支援策の充実	(1) 主伐による木材生産を推進するための再造林に対する助成金の創設	■主伐による木材生産を推進するための再造林に対する助成金の創設 「2025広島県農林水産業アクションプログラム」では、県産スギ・ヒノキの素材生産量40万/m³を維持していくと定められている。この目標を達成するためには民間事業体との連携強化により施業地の掘り起こしを積極的に行う必要があるが、安芸太田町の森林はこれまで間伐を推進してきており、多くの森林が伐期齢を迎えてきたことから主伐へシフトする必要がある。 しかしながら、「主伐」は間伐と違い補助金が無いため、木材価格が低迷する中、森林所有者が再造林し、下刈り等の保育経費を、賄う収入が確保できず、伐採が進んでいない。 主伐のメリットとして、主伐後に再造林を行うことにより将来の森林資源を造成し、また、森林の新陳代謝が進むことで森林の二酸化炭素吸収量が大幅に増え、地球温暖化などの環境問題や災害防止につながることが挙げられる。 については、主伐による木材生産を進めるため、再造林に対する助成金制度の創設を要望する。	04 安芸高田市 05 安芸太田町
61	06 農林水産局	4 未来・将来に向けた林業振興の推進及び支援策の充実	(2) ひろしまの森づくり事業（環境貢献林整備事業）における人工林健全化（間伐）の実施要件の見直し	■ひろしまの森づくり事業（環境貢献林整備事業）における人工林健全化（間伐）の実施要件の見直し 安芸太田町は、全体面積の約9割を森林が占めており、その内、スギ・ヒノキの人工林は50%で、その大半は集落から離れた奥山に形成している。 ひろしま森づくり事業の第2期対策（H24～H28）までは、景観改善及び水源涵養や治山機能の維持のために間伐を実施してきたが、第3期から集落から離れた森林の整備が対象外となり、人工林健全化（間伐）が停滞している状況である。 ひろしまの森づくり事業（環境貢献林整備事業）の要件にあてはまらない人工林は、健全化（間伐）ができない状況にあり、広い森林を有する市町では保全対象から尾根までの距離が遠く、山塊も大きい奥山についても、保全・整備すべき森林として整備ができるよう実施要件の見直しを要望する。	04 安芸高田市 05 安芸太田町
62	06 農林水産局	4 未来・将来に向けた林業振興の推進及び支援策の充実	(3) 森林病虫害被害の拡散・増加を防ぐための新たな防除方法の確立のための調査研究	■森林病虫害被害の拡散・増加を防ぐための新たな防除方法の確立のための調査研究 松くい虫及びナラ枯れ被害については、これまで被害木に薬剤を散布し駆除を行っているが、被害地周辺は数年で沈静化するものの、地域を移動しながら拡散していく傾向にある。従来の薬剤による駆除に加えて、複数の対策を組み合わせた効果的な駆除技術の開発・研究の促進をお願いする。 被害木は数年で朽ち、林内巡回や登山道周辺などでは危険木化するため、森林景観の維持や土砂流出防備などの公益的機能の維持発揮のためにも防除対策の確立をお願いする。	04 安芸高田市 05 安芸太田町
63	06 農林水産局	5 兼業農家・小規模農家に対する支援策の充実	(1) 小規模農業基盤整備事業等の要件緩和や補助制度の拡充	■小規模農業基盤整備事業等の要件緩和や補助制度の拡充 農道、農業用排水路等の小規模な維持修繕や改修について、中山間地域については、多面的機能支払交付金の活用や市町の維持修繕工事、独自の支援制度を創設し対応している。 しかし、農業用施設の小規模な維持修繕や改修については、事業メニューによっては、採択要件に法人であることなどの条件があり、中山間地域を除くエリアについて、市町単独事業で対応せざるを得ない。 また、地域によっては農業者の減少により、受益者による維持管理や費用負担も大きく、市町の財政状況も厳しさを増す中、採択要件の緩和や新たな補助制度の創設を要望する。	01 府中市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
6 4	06 農林水産局 【新規】	5 兼業農家・小規模農家に対する支援策の充実	(2) 町内外の担い手への農地マッチング推進	■町内外の担い手への農地マッチング推進 過疎化・高齢化の著しい進行により、耕作者が減少し、休耕地が拡大している。 休耕地解消のためには担い手へのマッチングが有効であるが、町内の担い手の数は限られ、現状では規模拡大は難しい。 過疎・高齢化により休耕地が増加し農地が荒廃すると、鳥獣被害の拡大が起こり、ますます周辺農家の耕作意欲の低下により、地域が衰退するという悪循環が起こっている。 安芸太田町は農地が狭小であるため、耕作の効率が悪い。小規模な農地でも活用可能な町内外の担い手とのマッチングの推進を、引き続きお願いする。	05 安芸太田町
6 5	06 農林水産局	6 その他の要望	(1) 基盤整備事業の予算確保及び中心経営体農地集積促進事業の継続	■基盤整備事業の予算確保及び中心経営体農地集積促進事業の継続 農業を担う若者が減少し、農業者の高齢化が急速に進んでいる。また、生産資材の価格高騰や農産物価格の低迷により、生産者は厳しい環境の中で農業経営を余儀なくされている。このような現状の中、担い手を中心とする効率的な農業の実現と地域農業を支える次世代の担い手育成が重要な課題である。 西大田地区においては、令和3年度より区画整理工事に着手し、令和6年度工事完了予定である。 今後は園芸作物生産による収益拡大と資材の共同購入や機械の共同利用による生産コストの低減や雇用創出を図り、効率的・安定的な経営体を目指す。 担い手の経営安定を図るためには、収益性の高い園芸作物の導入が必要であり、そのためには基盤整備を早期に整備完了する必要がある、予算確保及び中心経営体農地集積促進事業の継続を要望する。	04 安芸高田市 07 世羅町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
606	07 土木建築局	1 JRを始めとする交通ネットワークの維持充実を含めた生活交通確保事業の推進及び支援策の充実強化	(1) JR三江線代替交通の生活交通ネットワークの実現	■JR三江線代替交通の生活交通ネットワークの実現 三江線代替交通（路線バス）を運行しているが、道路の通行止めが発生し、安定した運行に支障を来している。 三江線代替交通（路線バス）の運行には、県道三次江津線を利用しているが、当該道路は急峻な山と河川に挟まれており、狭隘な区間が多く、走行性、安全性及び定時性の確保に課題がある。 特に大雨時には、通行止めが頻発するとともに、道路崩落等により大事故に至る危険性が高い。 利用者にとって安心・安全であり、なおかつ、安定して運行されている移動手段となるべく、道路環境整備のため、速やかな対策を講じていただきたい。	04 安芸高田市
607	07 土木建築局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(1)-1 砂防事業の促進	■砂防事業の促進 平成30年7月豪雨により、溪流からの土砂流出や急傾斜地崩壊などの土砂災害が多数発生し、近隣に居住する住民の不安は深刻なものになっている。 現在、府中市では、5箇所の砂防事業及び1箇所の急傾斜事業（広谷地区）に取り組んで頂いているが、今後の梅雨や台風による集中豪雨も想定される中、これらの地区は土砂災害の危険性が非常に高い状況であり、住民が安全安心に生活できるよう、早期の安全対策を要望する。ついては、「ひろしま砂防アクションプラン2021」の新規箇所についても早期着手を要望する。	01 府中市
608	07 土木建築局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(1)-2 砂防事業の促進	■砂防事業の促進 国土保全をはじめ、災害防止の面からも、安全で快適な市民生活を実現し、活力ある産業基盤を確立するため、砂防の早期整備を要望する。	別表のとおり
609	07 土木建築局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(2) 河川改修の促進	■河川改修の促進 国土保全をはじめ、災害防止の面からも、安全で快適な市民生活を実現し、活力ある産業基盤を確立するため、河川の整備の推進及び河川改修の促進を要望する。	別表のとおり
700	07 土木建築局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(3) 河川堆積土及び立木等の流路支障物を定期的な撤去等	■河川堆積土及び立木等の流路支障物を定期的な撤去等 河川への堆積土や流木等の流路支障物により流下能力を阻害している箇所が見られる。接続流入する町管理河川の水位上昇の一因ともなることから、定期的な対応を求める。	協議会提案
701	07 土木建築局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(4) 浸水(排水路)対策事業実施の確実な推進	■浸水(排水路)対策事業実施の確実な推進 平成30年7月西日本豪雨や近年頻発する局地的な豪雨及び台風等に伴い、芦田川の水位上昇や排水路が脆弱であることにより市内各地で民家の浸水被害が多発しており、住民からも改善要望があり、住民とともに早期に改良計画を検討し改善を図る必要がある。 現在、当市では、浸水対策を進めるにあたり、市街地区域における排水対策について現地調査し、対策について検討を行っている。改良するにあたっては、長期的な視点も必要と考えている。さらに、人口減少や農業従事者の減少・高齢化による樋門の管理等の課題も県内全域のものとする。 排水路等の改良や樋門操作の自動化・遠隔化による管理の省力化等の整備にあたり、自治体の負担を軽減するよう財政的支援について、更なる交付金の拡充や起債措置などの財政的支援を要望する。	01 府中市
702	07 土木建築局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(5)-1 急傾斜地崩壊対策事業の促進（貴船地区）	■急傾斜地崩壊対策事業の促進（貴船地区） この地区は幾度もの斜面災害が発生し、当市において最初に土砂災害防止法による土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定された。また、当該斜面下には高校・小学校などの教育施設や、保育所・幼稚園などの災害時要援護者関連施設がある。平成22年7月14日には吉田高校の裏山が崩壊し、建物等への被害も発生しており、地域住民も日常的に不安な生活を送っていることから、早期の安全対策が望まれる。	04 安芸高田市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
73	07 土木建築局 【新規】	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(5)-2 急傾斜地崩壊対策事業の促進	■急傾斜地崩壊対策事業の促進 本町は谷あい民家が点在しており、急峻な裏山の直下に民家が点在している場所も多い。近年、気候変動により頻発する土砂災害から住民の生命・財産を守り、生活道路などの交通インフラを維持するためにも、「ひろしま砂防アクションプラン2021」に掲載している急傾斜地崩壊対策事業の一層の事業促進を要望する。	05 安芸太田町
74	07 土木建築局 【新規】	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(6) 中国自動車加計スマートICのフルインター化	■中国自動車道加計スマートICのフルインター化 安芸太田町に設置されている加計スマートインターチェンジは、上りの広島・大阪方面へのハーフインターチェンジとして利用されている。本町は急峻な地形でもあり、近年の局地的な集中豪雨により幹線道路が通行止めとなることも多く、周辺国道で法面崩壊が頻繁に発生するなど、住民生活の安全・安心や通勤・通学の支障となることから、災害時のバックアップルートとしての高速道路利用を求める住民の声も高くなっている。 また、救急活動に高速道路の活用が期待されるほか、新たな観光スタイルとなるマイクロツーリズム及び関係人口の増加に繋がる地域振興を目的とした地域連携活動を推進するためにも、加計スマートインターチェンジの下り方面への利用が可能となるフルインター化の事業推進について、国及び関係機関に積極的に働きかけるよう要望する。	05 安芸太田町
75	07 土木建築局	2 国土強靱化の推進及び災害に強い地域づくり・防災体制の充実強化	(7) 二次被害防止に向けた総合的な治水・土砂災害対策の推進	■二次被害防止に向けた総合的な治水・土砂災害対策の推進 令和3年7月及び8月の大雨により、河川の氾濫、堤防の損壊や内水による浸水、土砂・流木等の流入が起こり、住家・農地・農業用施設が被災するなど、県民の財産を脅かす甚大な被害が発生している。 頻発する集中豪雨や台風等の自然災害による浸水や土砂流出等に怯えながら生活する状況であり、被災箇所の早期復旧・改修による二次災害を防ぐための対策が強く求められている。 県におかれは、県民が安全・安心して生活できるよう、河川改修等総合的な治水対策、土砂災害対策の推進に向けた予算確保をお願いするとともに、財政措置等の支援について国との調整・要望をお願いする。	協議会提案
76	07 土木建築局	3 観光振興の推進及び支援策の充実	(1) 土師ダム周辺のトイレの整備	■土師ダム周辺のトイレの整備 桜の名所としても知られる土師ダム湖畔は、年間15万人の入込観光客がある人気のスポットである。その周辺に、国及び県が設置されている老朽化したトイレがある。中でも、八千代湖駐車場トイレ、の三田谷公園トイレは老朽化が著しく、利用者からの苦情が聞かれているため、新しい生活様式に対応した清潔な洋式トイレの整備を要望する。	04 安芸高田市
77	07 土木建築局	4 中国自動車道の効果的な活用による地域振興	(1) 高速道路利用料金の割引制度の導入	■高速道路利用料金の割引制度の導入 中国横断自動車道尾道松江線の全線開通によって、広島県内では、山陽道と中国道の東西を走る高速道路がつながり、ヒトやモノの動きが一層活発になっている。 過疎地域を取り巻く状況は依然として厳しいため、観光産業や企業活動などにより、継続してヒト・モノが動く仕組みづくりが必要である。過疎地域にある高速道路のインターチェンジを活用する自動車について、高速道路利用料金の割引制度の導入を求める（吉和、戸河内、広島北、千代田、高田、三次、三次東、庄原、東城のインターチェンジを活用する車両について、通行料金のインセンティブを導入する等）。	協議会提案
78	07 土木建築局	5 合併建設計画における県事業の推進及び市町事業支援策の充実強化	(1) 合併支援道路網等の整備促進	■合併支援道路網等の整備促進 地域の自立・連携、地域の魅力づくりを進めるため、旧町村を連絡する道路(循環型道路)や、公共施設等の共同利用に資する道路等を整備しているが、これらについて国・県の財政的支援を引き続きお願いしたい。	協議会提案

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
79	07 土木建築局	6 高規格道路及び主要国県道の整備並びに一般県道の改良率の向上	(1)-1 高規格道路江府三次道路の整備促進	■高規格道路江府三次道路の整備促進 江府三次道路は、鳥取県日野郡江府町から広島県三次市に至る延長約86kmの高規格道路で、国道183号のバイパスとしても機能している。しかしながら、広島県内の総延長約49kmのうち、供用開始されているのは「高道路」の約3kmのみとなっており、全区間の早期完成が望まれている。 こうした中、国の直轄権限代行区間として整備を推進され、令和7年度に開通見通しが示されている全長12kmの「鍵掛峠道路」について、引き続き着実な取り組みをお願いする。 また、西城町平子～中野区間（平子中野道路）5km等における事業着手についてお願いする。	03 庄原市
80	07 土木建築局	6 高規格道路及び主要国県道の整備並びに一般県道の改良率の向上	(1)-2 高規格道路東広島高田道路の早期指定	■高規格道路東広島高田道路の早期指定 安芸高田市を横断している中国縦貫自動車道の高田ICと、東広島市の山陽自動車道の高屋ICを連絡することにより、広島県西北地区と東広島圏域との広域交流の推進、及び県中央地区と広島空港を連絡するフライト軸としての機能強化が図られるため、向原～吉田間の早期完成並びに吉田～美土里間及び東広島～向原間の「調査区間」への早期指定を要望する。	04 安芸高田市
81	07 土木建築局	6 高規格道路及び主要国県道の整備並びに一般県道の改良率の向上	(2) 広島中央フライトロードの早期整備	■広島中央フライトロードの早期整備 広島中央フライトロードは、広島空港と山陽自動車道、中国横断自動車道尾道松江線を相互に連絡する重要な路線であり、平成23年に広島空港ICから大和南ICまでの約10kmが供用開始されている。全区間の早期完成に向け、残る三原市大和町から世羅郡世羅町までの約14kmの調査区間についても、引き続き着実な整備促進を要望する。	07 世羅町
82	07 土木建築局	6 高規格道路及び主要国県道の整備並びに一般県道の改良率の向上	(3) 広島～江津間道路の整備促進	■広島～江津間道路の整備促進 当該道路は、中国山地に隔てられた広島・島根を貫く基幹道路として、両県の人的・物的な交流促進と地域の一体的発展に寄与するものである。本道路を構成する道路のうち広島県管理のものは、主要地方道安佐豊平芸北線、国道433号、国道186号、一般県道都川中野線、主要地方道旭戸河内線及び一般県道今福芸北線であり、総延長45kmのうち約40kmは改良済みである。 ついては、残る未改良区間についても、早期に整備をお願いしたい。	協議会提案
83	07 土木建築局	7 その他の要望	(1) 橋梁長寿命化修繕計画における修繕事業実施の確実な推進	■橋梁長寿命化修繕計画における修繕事業実施の確実な推進 市が管理する高齢化橋梁の急速な増大に対応するため、今から適時適切な維持補修を実施しなければ集中的に大規模な補修や架け替えが必要となり、今後大きな財政負担が必要となる。 アセットマネジメントを導入して、費用の平準化及び橋梁の長寿命化を図り、市内の道路網の安全性並びに信頼性を確保するものであり、確実にこの橋梁長寿命化修繕計画を実施していくための財源確保及び技術的支援を要望する。 橋梁点検については、5年に一度の点検が義務付けられており、毎年度多額の費用が必要となっている。自治体の負担を軽減するよう、補修工事済や損傷度Ⅰの橋梁については、点検頻度や方法の見直しを行い、財政的支援についても、補助事業の国費率のかさ上げ、起債措置などの財政的支援を要望する。	01 府中市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
84	07 土木建築局 【新規】	7 その他の要望	(2) 危険空き家の 除却事業の推進支援	■<u>危険空き家の除却事業の推進支援</u> 町内には、空き家が930軒以上あり、年々増加傾向にある。さらに、管理者が不在で、老朽化が進み隣接住宅や道路等に影響がある住宅も相当数存在している。町は、空き家等対策計画を策定し、計画的に空き家対策を行うため、国の「空き家再生等推進事業」（補助率1/2）を活用し、空き家解体補助事業（解体費の1/3の額または上限50万円）を実施し、空き家の適正な管理を推進している。 高齢化が進むにつれ、本来の所有者と管理者が疎遠なケースが多くなっており、管理が適正に行われず安全確保の観点から解体せざるを得ない空き家も増加傾向にある。解体費補助に関して町の負担も増大していることから、町負担分の一部について県費の支援を要望するものである。	05 安芸太田町
85	07 土木建築局	7 その他の要望	(3) 国及び県管理 河川の環境改善の推進	■<u>国及び県管理河川の環境改善の推進</u> 町内の河川は、かつては、清流が流れ鮎等の魚類が豊富に生息するとともに、町内や都市住民の憩いの場として活用されていたが、近年は水量の減少等により樹木やアシ等の草が河川を覆い、また、有害鳥獣の生息地となるなど、環境が悪化している。 現状のまま放置していると、生態系の維持、飲料水等各種用水の確保、防災など河川の多面的機能が失われるおそれがある。 太田川の環境改善を図るため、国、県、市町等関係団体で協議会を設立し、危機感を共有しながら、河川環境の検討や今後の取り組み等の対策を行う必要がある。	05 安芸太田町
86	07 土木建築局	7 その他の要望	(4) せら県民公園 の全体事業計画を段階的な整備	■<u>せら県民公園の全体事業計画の段階的な整備</u> せら県民公園（ふれあいの広場、自然生態の里の一部）開園により、県民のやすらぎ拠点施設として利用いただいているが、全体計画面積63haのうち整備されているのは27.2haであり、多くが山林のままである。 せら県民公園としての機能を発揮するためには、整備されていない山林が有効活用されとともに、より一層の安全管理が図られることが課題である。 中国横断自動車道尾道松江線が全線開通したことにより、新たな人の流れが生まれており、この流れに対応するためにも、未供用部分の整備を含め、せら県民公園の全体事業計画の段階的な整備を要望する。	07 世羅町
87	07 土木建築局	7 その他の要望	(5) 下水道処理施設 の改築更新事業にかかる財政支援	■<u>下水道処理施設の改築更新事業に必要な国費支援の継続</u> 地方自治体の下水道事業については、人口減少等の影響により使用料収入が減少傾向にある一方で、下水道施設の経年化による維持管理や改築更新等に係る支出は増加傾向にある。このような中、改築更新事業に係る国費支援は有効な手立てであり、生活衛生の向上、また、公共用水域の保全としても防災安全対策としても重要な役割を担っている。 平成29年度の財政制度等審議会では、下水道事業については未普及対策に重点化し、改築更新等については受益者負担の原則を強く提言しており、国もこれを受けた予算配分の方針を決定している。このことは、汚水処理施設の改築更新に係る国庫補助の大幅削減や、将来的な廃止が懸念されるものであり、公共用水域の水質汚濁防止の面から危惧されるものである。 地方自治体が実施する下水道施設の改築更新事業については、必要な国費支援を継続するよう国への働きかけを要望する。	07 世羅町
88	07 土木建築局 【新規】	7 その他の要望	(6) 道の駅再整備 に係る一体的整備	■<u>町の観光・産業振興拠点としての道の駅再整備に係る一体的整備</u> 安芸太田町の道の駅「来夢とごうち」は、建屋の老朽化や国道191号混雑等の問題に加え、道の駅と周辺施設の周遊性や各観光地へ誘導する仕掛けが乏しい。また、山間部に位置する本町の主要道路（国道191号、国道186号等）が大雨・大雪等の災害時に通行止めになった場合の代替道路が限られるため、一時的に車両を退避でき、道路利用者の安全・安心につながる最新情報を発信できる拠点が無い。 そこで、新たな観光・産業振興の拠点として町全体の活性化に貢献すると同時に防災拠点として機能するため、道路管理者である広島県と一体的に再整備することを要望する。	05 安芸太田町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
809	08 教育委員会	1 教育施策の推進と教育関係者の確保対策の充実	(1) 教職員体制の充実	■教職員体制及び教職員定数の充実 臨時的任用者や非常勤講師については、関係教育事務所に支援を受けて適正配置に努めているが、教職員の病休及び産休・育休取得等に伴う欠補数に対応する人材確保に大変苦慮している。とりわけ、中学校の美術・技術・家庭科の教科は極めて厳しい状況が生起している。 児童生徒の授業を確実に実施し、校長が学校経営に専念できる教職員体制の確保に向け、人材確保に尽力しているが、情報収集も含め、管外に所属する人員への声掛けや任用は大変困難である。加えて、新型コロナウイルス感染症対策及びICTの効果的な活用等、新しい形の学校運営を行うための人材確保も必要となってきた。 教職員の確保は全県的な課題であることから、校長が学校経営に専念できる教職員体制の確保に向け、最大限尽力していただくとともに、県全体を把握している県教育委員会の支援は重要であることから、今後も市町の教育委員会の支援を継続していただくよう要望する。 また、近年、若い職員の辞職が続いている。採用にあたっては、子どもへの愛情をもち、組織的に課題を解決しようとする社会性や、教科の専門性を磨き続けようとする意欲の高い教員を採用していただくよう要望する。 また、管理職の登用について、現状のなり手不足を鑑み、管理職選考だけではなく、任命制度の導入など柔軟な選考試験制度の見直しを検討していただくよう要望する。	01 府中市 02 三次市 04 安芸高田市
900	08 教育委員会	1 教育施策の推進と教育関係者の確保対策の充実	(2) ICT活用による学習への支援	■ICT活用による学習への支援 GIGAスクール構想の下、令和2年度に「1人1台端末」を導入し、高速大容量の通信ネットワークを整備した。 学校での利用のみならず、児童生徒が端末を家庭に持ち帰ることで、地域の中に自らの学びを発見し、ICT機器活用スキルの育成を図るとともに、新型コロナウイルス対策につながるオンライン学習も見通して活用頻度を一層加速させている。 これらの取組みの充実には、学校及び家庭での日常的な活用と教育現場の挑戦が欠かせないが、その取組みに特に必要な支援は、教職員のチャレンジングな教育活動をリアルタイムでサポートする「ヘルプデスク」機能の充実ととらえており、特に「Google Workspace」の活用に関するサポートは問い合わせが集中する傾向にあり、助言や回答が授業プランの修正に間に合わないケースが多数見受けられる。 このことから、教育支援サービス等のソフト活用をサポートする専門家による広島県版「ヘルプデスク」システムをネットワーク化していただくとともに、将来的には、児童生徒が自らの学びに端末を活用する過程で直面するトラブルに対しても、柔軟に対応できるよう拡充していただくよう要望する。 あわせて、ICT機器は、その更新サイクルが短いことに加えて既存機器の廃棄費用も加算されることを踏まえ、初期整備だけでなく、更新費用についても財政措置されるよう、国への働きかけを要望する。	01 府中市 04 安芸高田市

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
9 1	教育委員会 【新規】	1 教育施策の推進と教育関係者の確保対策の充実	(3) 過疎地域における高等学校配置	■過疎地域における高等学校配置 過疎地域においては、人口減少・少子化が著しく、今後、高校周辺の対象生徒が全員通ったとしても広島県教育委員会が示す統廃合等の検討基準を満たさない高校が増える可能性がある。こうした高校の統廃合等を進めた場合、高校空白地帯ができ、地域の人口減少に拍車がかかるのではないかと危惧している。 府中市では、この基準を前後する高校（上下高校）があり、学校の存続に向けて、高校の魅力を高めて地域や市外県外からも選ばれる高校となるよう、公営塾の運営や下校支援バスの運行、魅力向上コーディネーターの配置などの取組を行うとともに、大学やプロチームとの連携など、さらなる支援メニューを提案しながら、地域を巻き込んだ魅力づくりに取り組む予定である。 県立高校の全校生徒数が80人を下回らないよう、県・県教委としても、積極的に生徒獲得に向けた取組を行っていただきたい。 また、「80人」という基準が適切かどうか見直すとともに、中山間地域の県立高校において、各校に専門学科を設定する等、地域特性を含めた公立高校のあり方・存続についての方方向性を示すなど、高校の独自性を後押しする支援を検討いただきたい。 さらに、この方向性を議論する「学校活性化地域協議会」においては、協議会の委員構成メンバーに市長部局の参加も記載されているが、議論の過程では、地域代表者等による意見や協議を越える解決課題に直面する状況もみられる。市町の意思決定あるいは政策判断につながる局面にも対応できるよう、市町を含めた新たな議論のステージの検討を行っていただきたい。	01 府中市
9 2	08 教育委員会 【新規】	2 中山間地域活性化事業の推進及び支援策の充実強化	(1) 移住・定住促進に係る中山間地域の県立高校の活性化	■移住・定住促進に係る中山間地域の県立高校の活性化 県立高校を有する中山間地域の自治体では、県立高校の存在は、若者の転出を抑制する大きな資源であると捉えており、存続の取組を進めている。しかし、地元中学校の卒業生徒数も減少傾向にあり、県教委が示す高校再編の検討ライン以上の生徒数を確保するには、町外、県外からの生徒を募集し生徒数を確保するほか、手段がない状況となっている。 高校が地域からなくなれば、若者層、子育て世帯の流出に拍車がかかることは明らかである。 「地域みらい留学」等全国から生徒を誘致する取り組みは、高校存続のみならず、自治体の人口維持対策にとっても極めて有効であると考えており、全国からの生徒募集に係る取組や、高校の魅力アップのための高校と地域をつなぐコーディネーターの設置、特色ある取組に対する支援を要望する。	05 安芸太田町
9 3	08 教育委員会 【新規】	3 その他の要望	(1) 文化財保護法に基づく保存活用計画の策定	■文化財保護法に基づく保存活用計画の策定 特別名勝三段峡の峡内については、災害や冬季明けの融雪等の度に遊歩道の陥没や路肩の崩落が発生し復旧の間は入峡できないことから、三段峡の保存・活用の基本的な計画を広島県において作成、実施することにより、地域総がかりで三段峡を守り、活かし、存続につなげていくことが必要である。 毎年の災害等により三段峡内の通行できない箇所が増えてきており、特に行楽シーズンに観光客を受け入れることができず、周辺の観光施設は深刻な状況となっている。管理団体である広島県におかれては、三段峡保存活用計画を作成し、保存・活用に関する考え方を整理し、具体的な取組の推進を要望する。	05 安芸太田町

令和5年度主要施策に関する要望事項一覧表

連番	要望先	重点要望項目	項目	要望内容	市町名
9 4	09 警察本部	1 地域の安全・安心を支える防犯体制の充実及び施設整備の推進	(1) 信号機等交通安全施設の整備促進	■信号機等交通安全施設の整備促進 交通安全推進のため、地元からの要望や整備の必要性を考慮いただき、要望信号機等交通安全施設の整備促進を要望する。	協議会提案
9 5	09 警察本部	1 地域の安全・安心を支える防犯体制の充実及び施設整備の推進	(2) 警察施設の整備促進	■警察施設の整備促進 安全で安心な地域づくりのため、防犯及び防災拠点となる警察署、交番及び駐在所の果たす役割は非常に重要であり、少子高齢化が急速に進む中、地域住民の警察機関に対する期待はますます大きいものとなっている。 しかしながら、警察施設には老朽化したものが多いため、地震等の災害発生時、警察活動に支障を生じさせることが懸念されるほか、耐震化工事が実施された施設についても、バリアフリー化やトイレの改修等が実施されていない状況である。 引き続き、社会情勢の変化や老朽状況等を踏まえつつ、安全で機能性の高い警察施設への計画的な整備を要望する。	協議会提案

令和5年度 国道・県道要望路線

1. 高規格道路

順位	路線名	箇所	要望内容	市町	備考
1	江府三次道路	鳥取県日野郡江府町～広島県三次市（鍵掛峠道路）	早期整備	庄原市	道路改良

2. 国 道

順位	路線名	箇所	要望内容	市町	備考
1	486号	府中市父石町	早期整備	府中市	交通安全施設
2	486号	府中市篠根町	早期整備	府中市	交通安全施設
3	432号	府中市上下町矢野	早期整備	府中市	交通安全施設
4	486号	府中市目崎町	整備要望	府中市	交通安全施設
1	183号	三次市十日市中 （三次拡幅）	早期整備	三次市	道路改良
2	375号	三次市日下町 （引字根工区）	早期整備	三次市	道路改良
3	375号	三次市十日市南	早期整備	三次市	交通安全施設
4	375号	三次市三和町敷名	早期整備	三次市	交通安全施設
5	183号	三次市四拾貫町	早期整備	三次市	交通安全施設
1	314号	庄原市東城町東城～下川西（東城バイパス2工区）	早期整備	庄原市	道路改良
2	183号	庄原市西城町平子	早期整備	庄原市	交通安全施設
3	183号	庄原市西城町奥名	早期整備	庄原市	交通安全施設
4	432号	庄原市高野町新市	早期整備	庄原市	交通安全施設
5	432号	庄原市高野町	早期整備	庄原市	交通安全施設
6	183号	庄原市尾引町	早期整備	庄原市	交通安全施設
7	182号	庄原市東城町市街地（福代方面）	整備要望	庄原市	道路改良
8	432号	庄原市川北町（田の平・須川トンネル）	整備要望	庄原市	交通安全施設
1	54号（可部バイパス）	広島市安佐北区大林 （可部バイパス・上根バイパス接続）	早期整備	安芸高田市	道路改良
2	54号（歩道改築等交通安全施設整備）	安芸高田市八千代町勝田、安芸高田市八千代町佐々井	早期整備	安芸高田市	道路改良
3	433号	安芸高田市高宮町佐々部	整備要望	安芸高田市	道路改良
1	191号	安芸太田町松原	早期整備	安芸太田町	道路改良
2	186号	安芸太田町中筒賀	早期整備	安芸太田町	交通安全施設
3	186号	安芸太田町下殿河内	整備要望	安芸太田町	道路改良

令和5年度 国道・県道要望路線

4	433号	安芸太田町加計	整備要望	安芸太田町	道路改良
5	186号	安芸太田町下殿河内	早期整備	安芸太田町	道路災害防除
6	186号	安芸太田町上筒賀	早期整備	安芸太田町	道路災害防除
7	191号	安芸太田町松原～川手	早期整備	安芸太田町	道路災害防除
8	191号	安芸太田町遊谷	早期整備	安芸太田町	道路災害防除
9	191号	安芸太田町坪野～穴	早期整備	安芸太田町	道路災害防除
10	433号	安芸太田町加計	早期整備	安芸太田町	道路災害防除
1	186号	北広島町川小田	早期整備	北広島町	交通安全施設
2	433号	北広島町戸谷	早期整備	北広島町	道路改良
3	186号	北広島町細見	早期整備	北広島町	交通安全施設
4	433号	北広島町戸谷（堤）	整備要望	北広島町	道路改良
5	433号	北広島町下石	整備要望	北広島町	道路改良
6	433号	北広島町川戸～惣森	整備要望	北広島町	道路改良
7	186号	北広島町荒神原	整備要望	北広島町	交通安全施設
8	261号	北広島町有田 浜田八重可部線交差点	整備要望	北広島町	交差点改良
1	432号	世羅町賀茂 （賀茂バイパス）	早期整備	世羅町	道路改良
1	182号	神石高原町油木安田工区	早期整備	神石高原町	交通安全施設
2	182号	神石高原町坂瀬川工区	早期整備	神石高原町	道路改良
3	182号	神石高原町井関工区	早期整備	神石高原町	交通安全施設

令和5年度 国道・県道要望路線

3. 主要地方道

順位	路線名	箇所	要望内容	市町	備考
1	府中松永線 (都) 栗柄広谷線	府中市栗柄町～府中市高木町	早期整備	府中市	都市計画道路
2	新山府中線 (都) 栗柄広谷線	府中市高木町	早期整備	府中市	都市計画道路
3	府中上下線	府中市篠根町	早期整備	府中市	交通安全施設
1	吉舎油木線	三次市甲奴町本郷	早期整備	三次市	道路改良
2	甲山甲奴上市線	三次市甲奴町太郎丸	早期整備	三次市	道路改良
3	甲山甲奴上市線	三次市甲奴町福田	早期整備	三次市	交通安全施設
4	庄原作木線	三次市君田町石原	早期整備	三次市	交通安全施設
5	吉舎豊栄線	三次市吉舎町辻	早期整備	三次市	交通安全施設
6	三次高野線	三次市君田町泉吉田	早期整備	三次市	交通安全施設
7	世羅甲田線	三次市三和町羽出庭	早期整備	三次市	交通安全施設
8	三次庄原線	三次市三良坂町光清	早期整備	三次市	交通安全施設
1	西城比和線	庄原市比和町坊地	早期整備	庄原市	道路改良
2	庄原東城線	庄原市東城町下川西	早期整備	庄原市	道路改良
3	足立東城線	庄原市東城町長者山	早期整備	庄原市	道路改良
4	西城比和線	庄原市西城町黒谷上	早期整備	庄原市	道路改良
5	東城西城線	庄原市東城町保田	早期整備	庄原市	道路改良
6	甲山甲奴上市線	庄原市総領町上市～抜湯	早期整備	庄原市	道路改良
7	東城西城線	庄原市東城町下森	整備要望	庄原市	道路改良
8	庄原東城線	庄原市東城町雨連	整備要望	庄原市	道路改良
1	吉田豊栄線	安芸高田市向原町戸島	早期整備	安芸高田市	交通安全施設
2	広島三次線	安芸高田市向原町坂	早期整備	安芸高田市	交通安全施設
3	吉田邑南線	安芸高田市吉田町千川～美土里町瀬木	整備要望	安芸高田市	交通安全施設
4	吉田邑南線	安芸高田市美土里町横田	早期整備	安芸高田市	交通安全施設
5	広島三次線	安芸高田市甲田町高田原	早期整備	安芸高田市	交通安全施設
6	吉田邑南線	安芸高田市美土里町北	早期整備	安芸高田市	道路改良

令和5年度 国道・県道要望路線

1	千代田八千代線	北広島町畑	早期整備	北広島町	道路改良
2	芸北大朝線	北広島町鳴滝	早期整備	北広島町	道路改良
3	安佐豊平芸北線	北広島町烏帽子	早期整備	北広島町	道路改良
4	芸北大朝線	北広島町筏津	整備要望	北広島町	道路改良
5	千代田八千代線	北広島町惣森	整備要望	北広島町	道路改良 橋梁架換
6	旭戸河内線	北広島町才乙～大利原	整備要望	北広島町	道路改良
7	浜田八重可部線	北広島町壬生	整備要望	北広島町	交差点改良
8	安佐豊平芸北線	北広島町溝口～小原	整備要望	北広島町	路肩拡幅
1	甲山甲奴上市線	世羅町赤屋	早期整備	世羅町	道路改良
2	世羅甲田線	世羅町賀茂	早期整備	世羅町	交通安全施設
3	吉舎豊栄線	世羅町小国 冠	早期整備	世羅町	交通安全施設
4	府中世羅三和線	世羅町青近～別迫	早期整備	世羅町	道路改良
5	三次大和線	世羅町下津田	整備要望	世羅町	道路改良 交通安全施設
1	吉舎油木線	神石高原町小畠（トンネル）	早期整備	神石高原町	道路改良
2	芳井油木線	神石高原町上豊松	早期整備	神石高原町	道路改良
3	三原東城線	神石高原町福永	早期整備	神石高原町	交通安全施設
4	新市七曲西城線	神石高原町父木野	整備要望	神石高原町	道路改良

令和5年度 国道・県道要望路線

4. 県 道

順位	路線名	箇所	要望内容	市町	備 考
1	木野山府中線 (出口工区)	府中市出口町	早期整備	府中市	道路改良
2	新山府中線	府中市広谷町	早期整備	府中市	道路改良
3	篠根高尾線	府中市河面町	早期整備	府中市	待避所設置
4	別迫上下線	府中市上下町国留	早期整備	府中市	道路改良
5	宇賀矢野線	府中市上下町矢多田	整備要望	府中市	道路改良
1	三次江津線 ((都) 巴橋栗屋線)	三次市栗屋町 (祝橋)	早期整備	三次市	道路改良
2	宇賀安田線	三次市甲奴町宇賀品、一宮谷～六ツ宗	早期整備	三次市	道路改良
3	下門田泉吉田線	三次市君田町櫃田	早期整備	三次市	道路改良
1	比婆山公園線	庄原市西城町上尺田～上	早期整備	庄原市	道路改良
2	比婆山公園森脇線	庄原市西城町上尺田	早期整備	庄原市	道路改良
3	新市三次線	庄原市口和町永田	早期整備	庄原市	交通安全施設
4	中領家庄原線	庄原市総領町五箇	早期整備	庄原市	道路改良
5	実留春田線	庄原市春田町野本工区	早期整備	庄原市	道路改良
6	下千鳥小奴可停車場線	庄原市東城町内堀	早期整備	庄原市	道路改良
7	中領家庄原線 ((都) 高小路線)	庄原市東本町一丁目 (広島県庄原庁舎前～上野池付近)	早期整備	庄原市	都市計画道路
8	比婆山公園森脇線	庄原市比和町越原	整備要望	庄原市	道路改良
9	道後山公園線	庄原市西城町三坂	整備要望	庄原市	道路改良
10	下門田泉吉田線	庄原市高野町高暮	整備要望	庄原市	道路改良
1	原田吉田線	安芸高田市吉田町印内	早期整備	安芸高田市	道路改良
2	船木上福田線	安芸高田市高宮町船木	早期整備	安芸高田市	道路改良
3	三次江津線	安芸高田市高宮町敷式、所木、信木、乙木	早期整備	安芸高田市	待避所設置
1	弁財天加計線	安芸太田町土居	早期整備	安芸太田町	道路改良
2	澄合豊平線	安芸太田町穴	早期整備	安芸太田町	道路改良
1	七曲千代田線	北広島町阿坂	早期整備	北広島町	交通安全施設
2	下石八重線	北広島町有間～春木	早期整備	北広島町	道路新設 橋梁架設

令和5年度 国道・県道要望路線

3	都志見千代田線	北広島町今田	早期整備	北広島町	交通安全施設
4	八幡雲耕線	北広島町東八幡原～雲耕	整備要望	北広島町	道路改良
5	都川中野線	北広島町草安	整備要望	北広島町	道路改良
6	八幡雲耕線	北広島町雲耕	整備要望	北広島町	道路改良
7	七曲千代田線	北広島町七曲	整備要望	北広島町	道路改良
8	志路原大朝線	北広島町大朝	整備要望	北広島町	線形改良
1	宇賀安田線	世羅町安田	早期整備	世羅町	道路改良
2	東上原中原線	世羅町川尻～宇津戸	早期整備	世羅町	交通安全施設
3	徳市津口線	世羅町黒淵	整備要望	世羅町	道路改良
4	別迫上下線	世羅町青近	整備要望	世羅町	道路改良
1	草木高光線	神石高原町高光	早期整備	神石高原町	道路改良
2	三和油木線	神石高原町高蓋	早期整備	神石高原町	道路改良
3	木割谷小吹線	神石高原町近田	早期整備	神石高原町	道路改良
4	小島荒谷線	神石高原町桑木	早期整備	神石高原町	道路改良
5	三和油木線	神石高原町安田	早期整備	神石高原町	道路改良
6	帝釈峡井関線	神石高原町阿下	整備要望	神石高原町	道路改良
7	牧油木線	神石高原町油木	整備要望	神石高原町	道路改良
8	前原谷仙養線	神石高原町笹尾	整備要望	神石高原町	道路改良
10	原谷神石線	神石高原町福永	早期整備	神石高原町	道路改良
11	三和油木線	神石高原町広石	早期整備	神石高原町	道路改良

※早期整備…「広島県道路整備計画2021」においてR7年度までの事業予定箇所に入っている路線及び再生改良事業により待避所設置等を行う
 整備要望…「広島県道路整備計画2021」においてR7年度までの事業予定箇所に入っていない路線

令和5年度 改修要望河川(砂防河川を除く)

5. 河川（砂防河川を除く）

順位	河川名	市町	要望内容	場所等
1	一級河川 御調川	府中市	早期改修	府中市父石町 ～ 府中市篠根町
1	一級河川 国兼川	三次市	早期改修	三次市和知町
2	一級河川 大谷川	三次市	早期改修	三次市畠敷町
3	一級河川 板木川	三次市	早期改修	三次市下志和地町
4	一級河川 片野川	三次市	早期改修	三次市吉舎町敷地
5	一級河川 馬洗川	三次市	早期改修	三次市吉舎町丸太
6	一級河川 西城川	三次市	早期改修	三次市西河内町
7	一級河川 馬洗川	三次市	早期改修	三次市吉舎町敷地
8	一級河川 芋面川	三次市	早期改修	三次市廻神町
1	一級河川 成羽川	庄原市	早期改修	庄原市東城町 五反田橋下流
2	一級河川 成羽川	庄原市	早期改修	庄原市東城町 五反田橋上流
3	一級河川 西城川	庄原市	早期改修	庄原市本町～高町
4	一級河川 国兼川	庄原市	早期改修	山内町～庄原市七塚町
5	一級河川 西城川	庄原市	早期改修	庄原市西城町～川西町、可愛橋～大橋
6	一級河川 成羽川	庄原市	整備要望	庄原市東城町小奴可
1	一級河川 大土川下流	安芸高田市	早期改修	安芸高田市甲田町高田原
2	一級河川 多治比川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市吉田町多治比、吉田
3	一級河川 本村川	安芸高田市	早期改修	安芸高田市甲田町上甲立
4	一級河川 生田川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市高宮町丸原、船木、佐々部
5	一級河川 山田川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市甲田町上小原
6	一級河川 油川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市吉田町中馬
7	一級河川 見坂川	安芸高田市	早期改修	安芸高田市向原町長田、保垣
8	一級河川 今井谷川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市甲田町下甲立
9	一級河川 戸島川	安芸高田市	早期改修	安芸高田市向原町戸島
10	一級河川 房後川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市高宮町房後
11	一級河川 田草川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市高宮町川根

12	一級河川 三篠川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市向原町長田、坂
13	一級河川 大土川上流	安芸高田市	整備要望	安芸高田市甲田町高田原
1	一級河川 丁川	安芸太田町	早期改修	安芸太田町加計
2	一級河川 筒賀川	安芸太田町	早期改修	安芸太田町上筒賀
3	一級河川 西宗川	安芸太田町	早期改修	安芸太田町穴
1	一級河川 江の川	北広島町	早期改修	北広島町川戸
2	一級河川 江の川	北広島町	早期改修	北広島町新庄
3	一級河川 志路原川	北広島町	早期改修	北広島町春木
4	一級河川 小河内川	北広島町	早期改修	北広島町今吉田
5	一級河川 都合谷川	北広島町	整備要望	北広島町本地
6	一級河川 江の川	北広島町	整備要望	北広島町大朝
7	一級河川 江の川	北広島町	整備要望	北広島町惣森
1	一級河川 宇津戸川	世羅町	早期改修	世羅町宇津戸
2	一級河川 神崎川	世羅町	早期改修	世羅町東神崎
3	一級河川 矢熊川	世羅町	整備要望	世羅町宇津戸
4	一級河川 美波羅川	世羅町	整備要望	世羅町黒川
5	一級河川 芦田川	世羅町	整備要望	世羅町川尻
1	一級河川 阿下川	神石高原町	早期改修	神石高原町阿下

6. 砂防指定地内河川

順位	河川名	市町	要望内容	場所等
1	宮ノ間川	府中市	早期整備	府中市河佐町
2	観音谷川	府中市	早期整備	府中市広谷町
3	大畔谷川	府中市	早期整備	府中市上下町上下
4	僧殿川	府中市	早期整備	府中市僧殿町
5	四日市川	府中市	早期整備	府中市栗柄町
6	蔭地川	府中市	早期整備	府中市篠根町
7	石ヶ宇津川	府中市	早期整備	府中市木野山町
1	便坂川	三次市	早期整備	三次市作木町上作木
2	日南川	三次市	早期整備	三次市三良坂町日南
3	寺戸下川	三次市	早期整備	三次市三次町寺戸
4	常清滝川	三次市	早期整備	三次市作木町下作木
5	桜谷川	三次市	早期整備	三次市吉舎町吉舎
6	西野下奥谷川	三次市	早期整備	三次市甲奴町西野下
7	天楽川1号	三次市	早期整備	三次市作木町下作木
8	鍋屋谷川	三次市	早期整備	三次市栗屋町中ノ村
9	川東川2号	三次市	早期整備	三次市君田町藤兼
10	恵木谷川	三次市	早期整備	三次市畠敷町
11	中ノ村川(27)	三次市	早期整備	三次市栗屋町中ノ村
12	上布野川	三次市	早期整備	三次市布野町上布野
1	市場川	庄原市	早期改修	庄原市高町
2	大内谷川	庄原市	早期改修	庄原市濁川町
3	下領家右下谷①	庄原市	早期改修	庄原市総領町
4	神宮寺川	庄原市	早期改修	庄原市口和町
5	学恩寺川	庄原市	早期改修	庄原市東城町
6	宮奥谷川	庄原市	早期改修	庄原市比和町
7	高橋川	庄原市	早期改修	庄原市高町
8	忍地沖川	庄原市	早期改修	庄原市比和町
1	外掘川	安芸高田市	整備要望	安芸高田市吉田町外掘

2	小原川	安芸高田市	早期整備	安芸高田市吉田町入江
3	平林川	安芸高田市	早期整備	安芸高田市向原町坂
1	井仁口川	安芸太田町	早期整備	安芸太田町中筒賀
2	小僧津川	安芸太田町	早期整備	安芸太田町昌原
3	宇佐谷川	安芸太田町	早期整備	安芸太田町坪野
4	青ヶ迫川	安芸太田町	早期整備	安芸太田町上殿
5	坪野川	安芸太田町	早期整備	安芸太田町坪野
6	奥の畑谷川	安芸太田町	早期整備	安芸太田町加計
7	大歳谷川	安芸太田町	早期整備	安芸太田町上筒賀
1	伊勢坊谷川	北広島町	早期整備	北広島町本地
2	海見山川	北広島町	早期整備	北広島町本地
3	火の山川	北広島町	早期整備	北広島町中山
4	滝脇川	北広島町	早期整備	北広島町阿坂
5	門前川	北広島町	早期整備	北広島町大塚
6	広能川	北広島町	早期整備	北広島町本地
7	木次川	北広島町	早期整備	北広島町木次
1	弁財天川	世羅町	早期整備	世羅町宇津戸
1	西父木野川支川3	神石高原町	早期整備	神石高原町父木野

※早期改修…「ひろしま川づくり実施計画2021」においてR7年度までの事業予定箇所に入っている河川
 整備要望…「ひろしま川づくり実施計画2021」においてR7年度までの事業予定箇所に入っていない河川

